

八. まとめ

農計調査によってIADの入植地の農家は不随的自給農業のカテゴリーに入ると既に報告しているところである。農業は主に自給生産である。衣類を初め家具などの家族生活の欲求は、それだけでは充足できないことから、子女を女中に出したり、出稼ぎによる労働報酬によって賄われている。又、相等量の農産物を生産しても、道路の不備、輸送手段を持たない農家群は庭先価格で値切られ、労働報酬の考慮もない農産品として（ユカ、トウモロコシ）或いは、果物（ミカン、バナナ、レチョサ）は貯蔵性もないこともあり、極端に値切られて売らざるをえない。消費者の段階では結構な値段で売られており、中間における業者が入り組んで入り込み、彼らが生きているという筋骨きのはっきりしている。

IADの入植地のみならず丘地の小規模農家経営の中に胡椒を導入することにより、2ha 140本~180本程度で現在の経営を大きく改善することが出来る。成木段階で収入は8000ペソの増大が見込める。

一日当たりの労働報酬は177ペソと高く、日雇労働賃金の40ペソの4倍となる。

$$\frac{\text{労働所得}}{\text{年間労働日数}} = \frac{8,000}{45 \text{ (労働実質30日} \times 1.5 \text{ 倍とした)}} = 177 \text{ペソ}$$

しかしながら、胡椒の導入にあたっては、現在の流通システムを検討改善しなければ折角の高価である農産品も中間業者、或いは輸出業者のみ豊かにするという問題があり、胡椒生産と販売システムの改善は車の両輪であることを前提にして推進しなければならない。

12. ドミニカ共和国における将来の胡椒栽培計画策定のための検討資料

(1) 胡椒生産計画検討案（中核的農家レベル）

このプロジェクトの第一の目標は、小規模農家への胡椒栽培の普及と共に国内で胡椒を生産し国内消費を自給することによって、ドルの国外流出防止、ドミニカ共和国の経済発展に貢献することにある。

ドミニカ共和国における最近の胡椒輸入量から見た年間消費量は100トン～150トン程度であり、これに見合う供給量が必要である。その供給量としての生産計画は、1991年より展示農場を中心とし、適地調査を含む試作を目的として4戸の農家が胡椒栽培を開始している。更に1995年迄に試作農家への技術移転のために展示農場の技師の栽培技術向上を図り、1997年以降本格的な普及体制と併行して中核的農家の育成を強化して行く考えであり、2000年に98.8トンの胡椒を生産を上げることが可能となろう。1991年～2000年迄の中核的な胡椒栽培農家は延べ514戸、栽培面積60.9ヘクタール（974タレア）におよび、その生産計画は下表の通り。

中核的農家の年度別育成計画検討案

項目 \ 年	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
農 家 数	4	10 (14)	20 (34)	20 (54)	40 (94)	80 (174)	80 (254)	80 (334)	80 (414)	100 (514)
栽培面積(タレア)	4	10 (14)	20 (34)	20 (54)	80 (134)	160 (294)	160 (454)	160 (614)	160 (774)	200 (974)
植 付 本 数	400	1,000 (1,400)	2,000 (3,400)	2,000 (5,400)	8,000 (13,400)	16,000 (29,400)	16,000 (45,400)	16,000 (61,400)	16,000 (77,400)	20,000 (97,400)
生 産 量(トン)	—	—	0.4	1.6	4.3	7.8	17.8	38.8	66.8	98.8

備 考

- (1) 1戸あたり栽培面積1991～94年、1タレア（100本）とし1995～2000年2タレア（200本）とした。
- (2) 生産量の算出、3年木1.0キロ、4年木1.5キロ、5年木以降2.0キロとした。
- (3) ()内数字は延数。
- (4) 現在、「ド」国の胡椒栽培普及計画は作成されていない。

(注) 本検討案は、後藤隆郎専門家（収穫後処理技術）によって作成された。

(2) ドミニカ共和国における胡椒栽培適地の予測

地質区分、年間降雨量および標高を組み合わせる胡椒栽培適地の予測図を作成した(第1図)(早坂 猛、1991)。すなわち風化が進み物理性が良い(排水良好)と予測される中生代以前の地層でなおかつ年間降雨量が1,600mm以上の地帯を栽培可能地とし、それをさらに標高100m以下、100~300mおよび300~600mの水準で区分けした。『標高100m以下の地域は低湿地や隆起サンゴ石灰岩地帯が含まれる可能性が高いと考えられるため稲作優先地帯とした。標高100~300mの台地を栽培可能性の高い地帯とした。これはシバオ低地や当部山間低地の山裾に平坦~緩傾斜の洪積台地として広く分布している。しかし西部の山岳地帯では山間部低地の狭い地域に限定された』。さらにサマナ、リオサンファンおよびプエルタ近郊にもわずかながら該当地が見出せた。『標高300m以上の地帯は傾斜地が主となり土層が浅くて管理労力が増すことが若干不利と考えられる』が盆地では栽培可能であろう。『標高600m以上の地域は傾斜だけでなく気温の低下も問題となる』ため除外した。

この図に基づいて各地域の面積を重量法により測定したところ稲作優先地域1,400km²、胡椒の栽培可能性が高い地域3,000km² およびやや不利ではあるが栽培可能な地域1,300km²であった(第1表)。したがって胡椒栽培可能地合計は5,700km²となった。以上の区分けは地

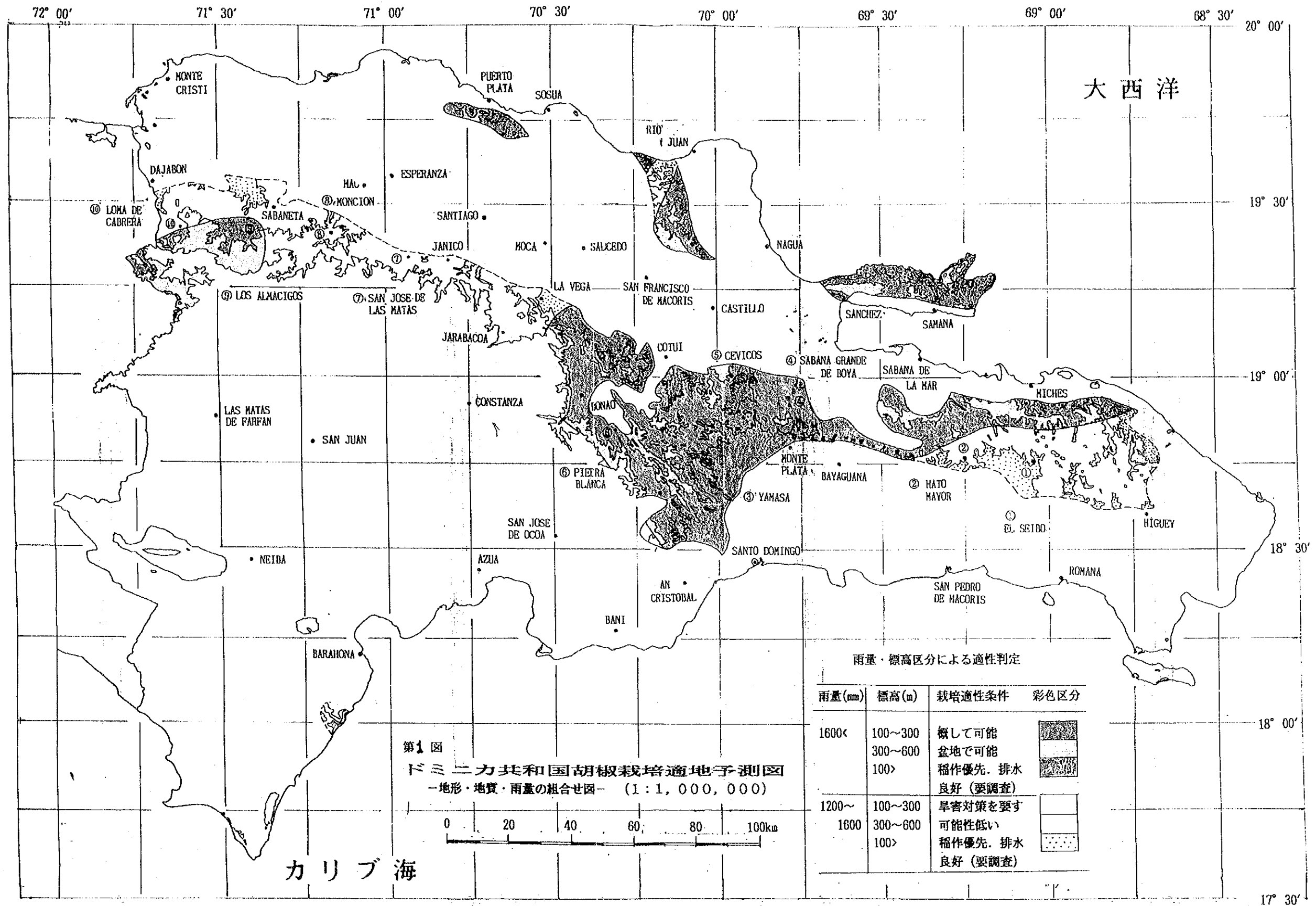
第1表 胡椒栽培可能地予測面積

年間降雨量	標高	栽培適性	面積
1,600mm以上	100m以下	稲作優先	1,400km ²
	100~300m	概して可能	3,000km ²
	300~300m	盆地で可能	1,300km ²
可能地合計			5,700km ²

質、年間降雨量および標高を組み合わせる機械的になされたものでありおよその適地を把握するにはおおいに役立つが、実際の判定にあたっては地形的条件に加え土壌の物理および化学性をも考慮したさらに詳しい調査が必要である。参考までにトヒン入植地における詳細な適地調査によると“適性有り”と判断されたのは同地区のおよそ2割であった(井嶺 昭、実施課題報告書、1991年1月、P.33)。そこで栽培可能性が高い地域にこの割合を当てはめると適性を有する土地面積は600km²(6万ha)となる。しかしこの中でも一部はすでに牧畜や永年作物の栽培に利用されており実質的に栽培が見込まれる面積はさらに減少しよう。

注：『』内は早坂 猛氏の原文引用

(文責：櫃田木世子)



第1図
 ドミニカ共和国胡椒栽培適地予測図
 -地形・地質・雨量の組合せ図- (1:1,000,000)

13. 農務省と農地庁の業務分担

(1) 農務省及び農地庁の一般的役割

農 務 省	農 地 庁
<ul style="list-style-type: none"> 1) 栽培関係についての調査の継続。 2) 栽培の普及と訓練。 3) 普及員訓練のための適切なカウンターパートの配置。 4) 実験室の維持管理のための消耗品の負担。 5) CENDETECAの母樹管理と試験圃場の維持管理。 6) 新しい栽培地を設定するための研究調査の実施。 7) 最新調査結果の発表。 	<ul style="list-style-type: none"> 1) 展示農場の管理。 2) 胡椒健苗の生産システムの設定。 3) 農民達への胡椒栽培展示。 4) 農民達への苗生産と配給。 5) 母樹の管理。 6) 試作農家の実証。 7) 適切なカウンターパートの配置と訓練の実施。 8) 入植地における胡椒栽培計画の設定。 9) 農民組合の形成。 10) 展示農場に置かれている一般機材の使用に関し便宜を与える。 11) 胡椒栽培において栽培年数を長くするための農民への栽培指導。 12) 生産者が良い値段で売るための指導。 13) 胡椒栽培試作農家への経営指導の設定。 14) 栽培農家の圃場より土壌サンプルを採集しその後 CENDETECA にて物理性、化学性を調査する。 15) 生産者の所で栽培されている胡椒に病害が発生した場合調査する。もし必要ならば CENDETECA にて調査し、対処方法を検討する。

(注) 上記資料は、農務省及び農地庁の調整員が作成したが、「一般的な役割」となっていないので、改訂する必要がある。

(2) プロジェクトにおける農務省と農地庁の責任分担

	農 務 省	農 地 庁
A. 適正な栽培技術の開発 及び営農計画の作成		
1. 栽培技術の開発	<p>(1) 生産樹及び支柱木の生産性調査 胡椒の生育と収量ならびに支柱木の 剪定方法と生育について定期的に調査 する。</p> <p>(2) 生産樹の栽培技術の改善 品種の特性と適応性、支柱木などに よる庇陰度、追肥時期、除草方法等が 収量構成要素に及ぼす影響を明らか にし、これに基づく改善技術の体系化を 組み立てる。</p> <p>(3) 支柱木の維持管理 胡椒と共生関係の良い支柱木の育成 技術の開発を行う。</p> <p>(4) その他の香辛料作物などの導入 導入香辛料作物の栽培維持及び特性 調査の実施、胡椒との混作体系の技術 開発を行う。</p>	<p>(1) 生産樹及び支柱木の生産性調査 担当圃場の栽培管理及び調査を補助。</p> <p>(2) 生産樹の栽培技術の改善 品種の特性及び適応性ならびに改善 技術の体系化試験圃場の管理と調査及 びその実証を行う。</p> <p>(3) 支柱木の維持管理 SEAに同じ。</p> <p>(4) その他の香辛料作物などの導入 有望な香辛料作物などの栽培展示、 実証を行う。</p>
2. 土壌栄養の技術開発	<p>(1) 土壌型による施肥基準の設定 土壌、胡椒樹及び支柱木の三要素の 吸収量を定期的に調査し、施肥基準の 設定を行う。</p> <p>(2) 作物生理的にみた施肥時期の決定 生育時期別に樹体の養分状態を調査 し、最適施肥時期及びその量を明らか にする。</p> <p>(3) 有機物投与が胡椒生育に及ぼす影響 の調査 カカオ果の殻、サトウキビ搾り粕、 鶏糞、間作牧草などの投与の有効性を 明らかにする。</p>	<p>(1) 土壌型による施肥基準の設定 調査圃場の肥培管理ならびに調査補 助を行う。</p> <p>(2) 作物生理的にみた施肥時期の決定 調査圃場の肥培管理ならびに調査補 助を行う。</p> <p>(3) 有機物投与が胡椒生育に及ぼす影響 の調査 有機物施用の有効性の実証展示を行 う。</p>
3. 作物保護の技術開発	<p>(1) 胡椒病害虫の発生生態の解明 生産樹病害虫の発生実態を調査し、 それぞれ病害虫の診断同定を行い、発 生条件を解明する。</p>	<p>(1) 胡椒病害虫の発生生態の解明 調査圃場の肥培管理及び調査補助を 行う。</p>

	農 務 省	農 地 庁
	(2) 胡椒樹の病害回避実用技術の開発 有用微生物、対抗植物の利用法と土壌の物理性改善及び農薬の効果的な使い方での病害回避効果を明らかにする。	(2) 胡椒樹の病害回避実用技術の開発 実用的な病害回避技術の実証展示を行う。
	(3) その他の香辛料作物及び間作作物の病害の発生実態調査 それぞれ対象作物の主要な病害の発生実態ならびに診断同定を行う。	(3) その他の香辛料作物及び間作作物の病害の発生実態調査
4. 健苗生産システムの設定	(1) 胡椒健苗の繁殖・生産システムの設定 各品種の無病原母樹を育成維持し、展示農場へ母樹を提供する。	(1) 胡椒健苗の繁殖・生産システムの設定 品種毎に母樹園を育成管理し、農民へ健苗を育成配布する。
5. ポストハーベストの処理システムの開発設定	(1) 良質黒胡椒の調整・貯蔵技術の開発 良質黒胡椒生産のための乾燥ならび貯蔵技術を開発する。	(1) 良質黒胡椒の調整・貯蔵技術の開発 調整・貯蔵技術の実証を行う。
	(2) 胡椒流通システムの検討 ド国における等級基準の作成	(2) 胡椒流通システムの検討 国内市場の調査と販売体制の検討
6. 営農計画の作成	(1) 試作農家の営農検討 経営簿記の記帳項目、経営追跡の調査項目の原簿を作り、I D A と共同で試作農家の資金繰り、経営の追跡調査を行う。	(1) 試作農家の営農検討 試作農家の選定を行い、胡椒生産までの資金繰りの方策、経営簿記の記帳を指導し、経営の追跡調査を行う。 S E A と同じ。
	(2) 経農計画の作成 上記調査をもとに営農モデルを作成する。	(2) 経農計画の作成 S E A と同じ。
B、実証・訓練		
1. 展示圃場における栽培展示と実証		(1) 胡椒の各種栽培法の実証展示 展示農場における各種栽培法の生産量、生産費と収益率について調査し、胡椒栽培の有利性を実証展示する。
2. 農業技術者及び普及員の訓練	(1) 農業技術者及び普及員の訓練 胡椒栽培の指針、各技術部門の教材資料、視聴覚教材の作成ならびに訓練の計画と実施。	(1) 農業技術者及び普及員の訓練 実習訓練用教材の作成及び農民への実習訓練。

(注) 松田リーダー代行が、今後の検討資料として作成した。

(3) 農務省と農地庁との協力体制の強化策

次の2会議を設置し、SEA、IADの連絡を密にし、上記2項の実施計画が円滑に進捗し、本プロジェクトの目的達成に努める。(日本人専門家チームと「ド」側との間で合意済。)

1) 企画調整会議

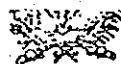
- a) 目的：合同委員会の審議結果に基づき、企画、情報、進行管理及びCENDETECAと各展示圃場の環境整備等について審議する。
- b) 構成：議長 プロジェクト長（IAD副長官）
メンバー（日本側）チームリーダー、業務調整
（SEA側）研究部長、業務調整
（IAD側）生産部長、業務調整
- c) 会議：議長が招集し、2月1回（第1月曜日）以上開催する。

2) 担当者会議

- a) 目的：各部署の運営管理並びに胡椒栽培にかかわる技術情報の交換、問題提起を行う。
- b) 構成：議長 SEA業務調整
メンバー（日本側）業務調整
（SEA側）CENDETECA胡椒香辛料部長
（IAD側）業務調整、各展示農場
注：日本人チームリーダー及び専門家、C/Pは必要に応じてオブザーバーとして参加を認める。
- c) 会議：議長が招集し、月1回（第2火曜日）以上開催する。

15. 卜側プロジェクト関係 1991 年度支出実績及び 1992 年度、
1993～1997 年度予算計画（農務省及び農地庁）

(1) 1991 年度支出実績（農務省）



REPUBLICA DOMINICANA

SECRETARIA DE ESTADO DE AGRICULTURA

DEPARTAMENTO INVESTIGACIONES AGROPECUARIAS

PRESUPUESTO PROYECTO PIMIENTA HATA LARGA, SECRETARIA DE ESTADO AGRICULTURA
PARA EL PERIODO ENERO-DICIEMBRE 1991.

CUENTA	SUBCUENTA	MONTO PROGRAMADO (RD)
	TOTAL A+B	375,100.00
	A. GASTOS CORRIENTES	293,100.00
01	SERVICIOS PERSONALES	172,000.00
	0011 Sueldos Fijos	100,000.00
	0122 Sueldos Personal Nominal	60,000.00
	0141 Jornales	12,000.00
	SERVICIOS NO PERSONALES	41,300.00
	0211 Radio Comunicaciones	800.00
	0214 Correos y Telégrafos	500.00
	0221 Electricidad	3,000.00
	0222 Agua y Basura	600.00
	0231 Avisos y Propagandas	10,000.00
	0241 Viáticos dentro del país	10,000.00
	0242 Viáticos fuera del país	10,400.00
	0272 Bienes Muebles (Seguros)	6,000.00
03	MATERIALES Y SUMINISTROS	79,800.00
	0311 Alimentos para humanos	6,000.00
	0312 Bebidas no alcohólicas	2,000.00
	0341 Papel de escritorio	1,000.00
	0342 Productos de papel cartón	800.00
	0353 Neumáticos y Cámara de aire	20,000.00
	0362 Combustibles, lubricantes y otros	40,000.00
	0363 Abonos y fertilizantes	4,000.00
	0364 Insecticidas, fumigantes y otros	3,000.00
	0391 Utiles de limpieza	1,000.00
	0392 Utiles de oficina.	2,000.00
	B. GASTOS DE CAPITAL	82,000.00
04	HAQUINARIAS Y EQUIPOS	38,000.00
	0418 Equipos de comunicaciones	20,000.00
	0471 Herramientas mayores	10,000.00
	0473 Repuestos para equipos transporte	8,000.00
06	CONSTRUCCIONES DE OBRAS Y PLANTACIONES	44,000.00
	0625 Plantaciones para usos industriales	10,000.00
	0627 Semillas, Cepas y Rizomas	4,000.00
	0652 Edificios para oficinas y laboratorios	30,000.00

(2) 1992年度予算 (農務省及び農地庁)

1) 農務省

EJECUCION PRESUPUESTARIA DEL PROYECTO PIMIENTA, CENDETCA
SECRETARIA DE ESTADO DE AGRICULTURA, ENERO-DIC. 1992

CLASIF. PRESUP. -cuenta -Sub-cuenta	DETALLE	1992
A	GASTOS CORRIENTES	694,230.57
01	SERVICIOS PERSONALES	430,270.51
0111	Sueldos fijos	123,400.00
0112	Sueldo personal nominal	70,140.00
0141	Jornales	12,000.00
0142	Sobre jornales	225,230.51
02	SERVICIOS NO PERSONALES	74,300.00
0211	Radio y Comunicaciones	800.00
0214	Correos y Telégrafos	500.00
0221	Electricidad	2,500.00
0222	Agua y Basura	600.00
0231	Avisos y Propaganda	11,000.00
0241	Viaticos dentro del país	11,500.00
0242	Viaticos fuera del país	40,000.00
0272	Vienes muebles (seguros)	5,600.00
03	MATERIALES Y SUMINISTROS	178,960.00
0311	Alimentos para humanos	7,000.00
0312	Bebidas no alcohólicas	2,500.00
0341	Papel de escritorio	3,000.00
0342	Productos de papel cartón	2,000.00
0353	Neumaticos y cámara de aire	57,000.00
0362	Combustible, lubricantes y otros	100,260.00
0363	Abonos y fertilizantes	2,000.00
0364	Insecticida, fumigantes y otros	2,000.00
0391	Utiles de limpieza	1,100.00
0392	Utiles de oficina	2,100.00
B	GASTOS DE CAPITAL	130,000.00
04	MAQUINARIAS Y EQUIPOS	12,000.00
0418	Equipos de comunicaciones	
0471	Herramientas mayores	10,000.00
0473	Repuestos para equipos transporte	2,000.00
06	CONSTRUCCIONES DE OBRAS Y PLANTACIONES	118,000.00
0625	Plantaciones para usos industriales	8,000.00
0627	Semillas, cepas y risomas	8,000.00
0659	Otras edificaciones	90,000.00
111	SUSPENSO	12,000.00
1111	Suspense, Caja Chica	12,000.00
	SUBTOTAL	814,230.52
	IMPREVISTO	122,134.57
	TOTAL	936,365.09

2) 農地庁

PRESUPUESTO PROGRAMADO 1992
VALORES EN RD\$

CLASIF. PRESUP - Cuenta - Sub-cuenta	DETALLE	ENERO-DIC. 92
01	SERVICIOS PERSONALES	774,514.00
012	SUELDO PERSONAL TEMPORERO	500,000.00
0122	SUELDO PERSONAL NOMINAL	500,000.00
013	SOBRESUELDOS	224,514.00
0133	COMPENSACION POR HORAS EXTRAORDINARIAS	224,514.00
014	JORNALES	50,000.00
0141	JORNALES	50,000.00
02	SERVICIOS NO PERSONALES	210,000.00
024	VIATICOS	50,000.00
0241	VIATICOS DENTRO DEL PAIS	50,000.00
028	CONSERVACION REPARACIONES MENORES	155,000.00
0283	CONSTRUCCIONES TEMPORALES	155,000.00
029	OTROS SERVICIOS NO TEMPORALES	5,000.00
0297	IMPUESTOS	5,000.00
03	MATERIALES Y SUMINISTROS	100,000.00
034	PRODUCTOS DE PAPEL, CARTON E IMPRESOS	50,000.00
0341	PAPEL DE ESCRITORIO	50,000.00
036	PRODUCTOS QUIMICOS CONEXOS	50,000.00
0362	COMBUSTIBLES Y LUBRICANTES	50,000.00
06	CONSTRUCCION DE OBRAS Y PLANTACIONES AGRICOLAS.....	300,000.00
065	EDIFICIOS	200,000.00
0651	EDIFICIOS PARA VIVIENDAS	200,000.00
061	CAMINOS	100,000.00
0616	VIAS DE COMUNICACION	100,000.00
TOTAL		384,514.00 =====

FONDO DE INSUMOS DONADOS POR EL JAPON EN 1992 RD\$544,514.00

(3) 1993 ~ 1997 年度予算計画 (農務省及び農地庁)

1) 農務省

PRESUPUESTO PROYECTO PIMIENTA - CENDETTECA
SECRETARIA DE ESTADO DE AGRICULTURA

CLASIF. - PRESUP. - Cuenta - Sub-cuenta	DETALLE	1993	1994	1995	1996	1997
A	GASTOS CORRIENTES	1,030,778.20	1,026,624.00	1,407,997.20	1,681,068.70	2,101,417.10
01	SERVICIOS PERSONALES	745,878.20	659,304.00	917,871.20	1,060,245.00	1,820,294.50
0111	Sueldos fijos	257,400.00	308,880.00	436,176.00	525,411.20	620,893.44
0112	Sueldo personal nominal	152,100.00	182,520.00	247,416.00	296,899.20	356,279.04
0141	Jornales	7,920.00	9,504.00	11,404.00	13,684.80	16,421.76
0142	Sobre jornales	328,458.20	158,800.00	221,875.20	266,250.24	319,500.28
02	SERVICIOS NO PERSONALES	82,500.00	92,800.00	105,850.00	121,133.50	139,453.10
0211	Radio y Comunicaciones	7,500.00	4,800.00	4,000.00	4,000.00	4,400.00
0214	Correos y Telégrafos	1,000.00	1,100.00	1,210.00	1,331.00	1,464.00
0221	Electricidad	5,000.00	5,500.00	6,050.00	6,655.00	7,320.50
0222	Aqua y Gasura	2,100.00	2,100.00	2,310.00	2,541.00	2,784.10
0231	Aviases y Propaganda	15,000.00	19,000.00	21,450.00	23,595.00	26,954.50
0241	Viáticos dentro del país	20,000.00	24,000.00	28,800.00	34,560.00	41,472.00
0242	Viáticos fuera del país	20,000.00	24,000.00	28,800.00	34,560.00	41,472.00
0272	Vienes muebles (seguros)	12,000.00	12,000.00	13,230.00	13,891.50	14,386.00
03	MATERIALES Y SUMINISTROS	292,400.00	374,520.00	384,276.00	492,688.00	641,647.52
0311	Alimentos para humanos	10,000.00	11,000.00	35,000.00	42,000.00	47,100.00
0312	Bebidas no alcohólicas	4,000.00	4,000.00	8,400.00	8,400.00	10,100.00
0341	Papel de escritorio	3,000.00	10,000.00	15,000.00	17,250.00	17,837.50
0342	Productos de papel cartón	1,000.00	2,000.00	4,000.00	4,500.00	5,250.00
0353	Neumáticos y cámara de aire	57,000.00	74,100.00	96,330.00	125,229.00	162,797.70
0362	Combustible, lubricantes y otros	100,000.00	135,000.00	183,250.00	246,037.50	332,150.60
0363	Abonos y fertilizantes	12,000.00	20,000.00	28,400.00	30,000.00	36,000.00
0364	Insecticida, fumigantes y otros	2,400.00	10,000.00	10,200.00	15,000.00	18,000.00
0391	Utiles de limpieza	5,000.00	2,320.00	2,645.00	2,778.50	2,917.20
0392	Utiles de oficina	5,000.00	5,500.00	6,050.00	6,655.00	7,320.50
R	GASTOS DE CAPITAL	153,520.00	150,000.00	159,550.00	171,741.00	161,300.10
04	MAQUINARIAS Y EQUIPOS	51,000.00	44,100.00	47,510.00	51,261.00	34,487.10
0418	Equipos de comunicaciones	20,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00	10,000.00
0471	Herramientas mayores	15,000.00	14,500.00	18,150.00	19,965.00	21,941.50
0473	Repuestos para equipos transporte	16,000.00	17,500.00	19,360.00	21,296.00	2,535.60
06	CONSTRUCCIONES DE OBRAS Y PLANTACIONES	78,000.00	106,400.00	112,040.00	120,480.00	91,635.00
0625	Plantaciones para usos industriales	20,000.00	20,000.00	22,000.00	24,200.00	24,620.00
0637	Semillas, cepes y risomas	8,000.00	10,000.00	11,000.00	14,300.00	19,015.00
0659	Otras edificaciones	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
111	SUSPENSO	24,000.00	26,400.00	29,040.00	31,980.00	35,178.00
1111	Suspensio, Caja Chica	24,000.00	26,400.00	29,040.00	31,980.00	35,178.00
	SUBTOTAL	1,173,778.20	1,177,124.00	1,567,547.20	1,852,809.70	2,262,717.20
	IMPREVISTO	177,566.73	176,568.00	235,132.00	277,921.45	339,487.58
	TOTAL	1,351,344.90	1,353,692.00	1,802,679.00	2,130,731.10	2,602,204.70
	FONDO DE INSUMOS DONADOS POR EL JAPON	911,344.70	830,092.60	1,084,067.00	644,701.30	1,583,827.70

Fondo de la SFA

2) 農地庁

INSTITUTO AGRARIO DOMINICANO
 CONTRAPARTIDA LOCAL DEL PROGRAMA DE PIMIENTA
 PRESUPUESTO PROGRAMADO 1993-97
 VALORES EN RD\$

CLASIF. PRESUP. -Cuenta -Sub-cuenta	DETALLE	1993	1994	1995	1996	1997
01	SERVICIOS PERSONALES	750,000.00	850,000.00	850,000.00	850,000.00	850,000.00
012	SUELDO PERSONAL TEMPORERO	500,000.00	500,000.00	500,000.00	500,000.00	500,000.00
0122	SUELDO PERSONAL ADMINIAL	500,000.00	500,000.00	500,000.00	500,000.00	500,000.00
013	SOBRESUELDOS	200,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00
0133	COMPENSACION POR HORAS EXTRAORDINARIAS	200,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00
014	JORNALES	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
0141	JORNALES	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
02	SERVICIOS NO PERSONALES	190,000.00	190,000.00	190,000.00	190,000.00	240,000.00
024	VIATICOS	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
0241	VIATICOS DENTRO DEL PAIS	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
028	CONSERVACION REPARACIONES MENORES	135,000.00	135,000.00	135,000.00	135,000.00	185,000.00
0283	CONSTRUCCIONES TEMPORALES	135,000.00	135,000.00	135,000.00	135,000.00	185,000.00
029	OTROS SERVICIOS NO TEMPORALES	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
0297	IMPUESTOS	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
03	MATERIALES Y SUMINISTROS	100,000.00	100,000.00	100,000.00	100,000.00	100,000.00
034	PRODUCTOS DE PAPEL, CARTON E IMPRESOS	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
0341	PAPEL DE ESCRITORIO	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
036	PRODUCTOS QUIMICOS CONEXOS	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
0362	COMBUSTIBLES Y LUBRICANTES	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00	50,000.00
06	CONSTRUCCION DE OBRAS Y PLANTACIONES AGRICOLAS.....	400,000.00	400,000.00	500,000.00	500,000.00	550,000.00
065	EDIFICIOS	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00	350,000.00
0659	OTRAS CONSTRUCCIONES	300,000.00	300,000.00	300,000.00	300,000.00	350,000.00
061	CAMINOS	100,000.00	100,000.00	200,000.00	200,000.00	200,000.00
0616	VIAS DE COMUNICACION	100,000.00	100,000.00	200,000.00	200,000.00	200,000.00
TOTALES.....		1,440,000.00	1,540,000.00	1,640,000.00	1,640,000.00	1,740,000.00
FONDO DE INSUMOS DONADOR POR EL JAPON ...		635,000.00	735,000.00	735,000.00	735,000.00	835,000.00

16. 第2年次主要な供与機材（案）

1. 蒸気土壌消毒機（発電機付き）
2. 蛍光顕微鏡
3. 低温恒温貯蔵庫（湿度調節装置付き）
4. 凍結乾燥機
5. 真空パック装置
6. 小型トラクター（各展示農場、CENDETECAに1台ずつ配置、20馬力）
7. 蒸気噴射洗浄機（農機具に付着した土壌中の病原菌の殺菌洗浄用、各展示農場、CENDETECAに1台ずつ配置）

17. 「ド」国側の治安状況及び必要な安全対策（専門家チーム作成資料）

(1) 首都（サント・ドミンゴ）及びプロジェクト・サイトの一般的治安状況

警察庁の調書による1991年度における殺人事件の発生状況は別表のとおりであり、このうち、プロジェクトに係る地域の殺人事件の発生状況は、下表のとおり。

地 域	人 口 ('81年国勢調査)	殺人発生件数			人口10万人当 発生件数 順位	犯 人			殺人の手段				
		男	女	計		男	女	計	鉄砲	刃物	殴打	他	
首都(サント・ドミンゴ)	1,540,786	298	26	324	21.0	5	333	8	341	161	114	37	12
DUARTE	227,798	32	3	35	15.4	10	37	0	37	12	20	2	1
SAMANA	64,537	14	0	14	21.7	4	18	0	18	5	7	2	0
SANCHEZ RAMIREZ	119,866	11	1	12	10.0	19	12	0	12	3	8	1	0
全 国	5,545,741	815	93	908	16.4		974	27		324	446	112	23

注：〔1〕 シェラ・プリエタ展示農場は首都を参考地点とし、サンフランシスコ・デ・マコリスは DUARTE、トヒンは SANCHEZ RAMIREZ、ラ・マハグアは SAMANA にそれぞれ含まれる。

〔2〕 ド国の地域区分数は27に分けられる。

年次による変動も考慮すべきであるが、西欧先進国（日本；1.1人、米国；8.7人、英国；9.1人、旧西独；3.9人、仏；4.6人）に較べて非常に高いので、十分に注意する必要があるだろう。

英国コントロール・リスク社から派遣されたMr. Peter およびMr. Anthony のコメントによると、ド国の政情は非常に安定しており、インフレ率も低く、テロ団が発生する危険率は低く、彼らによる犯罪（殺人、誘拐等）の発生は少ないのではないかと判断される。しかし社会情勢の変動は速いし、一般犯罪（窃盗等）は多くなっているので注意する必要があるだろう。（5月21日の講演から）

5月25日、サンフランシスコ・デ・マコリスに来訪した時、当市には立派な新築家屋、自動車販売店が多いことから金持ちが多いようだ。従来から麻薬の中継地とされていることを考えると、泥棒が多い町かも知れない。しかし市街地の住宅構造等を見たところでは、必ずしも危険な町とは見なされない。私達が使用している通勤道路は現在危険な箇所はないが、幹線道路から（CENDETECA）へ入る田舎道の両側にはカカオ園が多く、誘拐などの事件を起こし易い場所が多いので、社会情勢の変動に呼応して十分に注意するとのコメントがあった。

(2) 専門家の安全確保に必要な防犯対策

① 専門家自身による安全確保—現在、本プロジェクトの専門家が実施している安全対策

- イ. 事件発生後直ちに、各自住居の出入口、窓等の点検を行い、新しく扉や鉄格子を設置し、防備を補強した。(全員)
- ロ. 出入口の扉は、二重施錠となるようにした。(全員)
- ハ. 警備保障会社の警備員による夜警を実施している。(浜田、櫛田)
馬越はアパート共通の警備員を24時間体制で実施している。
松田は家主が一階に居住し、出入口を常時警備しているため、警備員を置いていない。
- ニ. 親子電話にて寝室に電話を設置した。(櫛田、馬越)
松田は当初より寝室に設置していた。
- ホ. JICAから貸与された錠を寝室の扉に設置し、二重施錠となるようにした。サイレンも寝室に置いた。(全員)
- ヘ. 櫛田は犬を飼い、常時女中が居住し留守にならないように配慮している。馬越、浜田ともに出張等で家を空ける場合、女中或いは姻戚関係者を居住させて、留守にならないように配慮している。
- ト. 出来る限り、相乗りで通勤している。(浜田、松田)
- チ. 事件発生前に比べて、隣人との接触機会を多くするように努めている。

② JICAに対する専門家安全対策についての要望

基本的に安全対策は、個人の責任において実施されるべき事項と認識するが、次の事項についてご配慮願いたい。

- イ. ド国の政治、経済、社会の変動等の情報提供をお願いしたい。
- ロ. 安全講習会を実施し、専門家の注意を喚起して貰いたい。
- ハ. 警報装置の設置。

③ ド国側に対する専門家安全対策についての要望

平成4年5月15日、JICAドミニカ共和国事務所長に、次の事項についてド国側に要請して頂くよう申し入れた。

イ. 専門家の住居に対する警備。

現在、警察のパトロールが行われているが、引き続き実施願いたい。

ロ. CENDETECAの安全対策

- a. 警備保障会社の警備員による事務所の警備(3名)。

設置場所については別紙-1参照。

- b. 運転手1名増(現在1名)。

現在、通勤は自家用車を原則としている。又、展示農場への出張も多くの場合、専門家が運転している。専門家の一層の安全確保の為には、ドミニカ共和国側の運転手による集団通勤、展示農場への出張が良策と判断される。これらの事項を実現する為に運転

手の増員をお願いしたい。

c. 実験棟の安全対策。

i) 実験棟の窓の整備；別紙ー2の様に15か所に不良箇所がある。

ii) 土壌実験室と栽培実験室、栽培実験室と植物病理実験室との間に空間があるので、ここに空気抜きを兼ねたグラスファイバー製の屋根及び鉄格子を付ける。現在、備品類が多くなり実験室が手狭になっているので、この空間の有効利用を図るために屋根を付ける。

d. 電話を設置する。

e. ポータブル無線機を2台増加する。

注：このイの件では5月20日以降、サンフランシスコ・デ・マコリスに在住する専門家の住居には、24時間体制で制服の警官が警備に当たっている。

別表：地域別殺人事件発生状況

EL HOMICIDIO EN EL PAIS
Año 1991

Jurisdicciones:	No. de Casos	Víctimas		Victimarios		Armas usadas			
		Var.	Hemb.	Var.	Hemb.	Fuego	Blanca	Cont. <small>CANTUNDENTE</small>	Otra
Dist. Nacional ...	324	298	26	333	8	161	114	37	
Azua	17	15	2	24	1	2	11	3	
Baoruco	15	12	3	17	1	3	10	2	
Barahona	19	18	1	21	1	6	10	3	
Dajabón	4	4	-	4	-	1	1	1	
Duarte	35	32	3	37	-	12	20	2	
Elías Piña	4	3	1	8	-	-	4	-	
El Seibo	14	14	-	16	-	2	11	1	
Espailat	22	19	3	24	-	6	13	2	
Hato Mayor	11	8	3	10	-	3	6	1	
Independencia	3	3	-	3	-	-	2	1	
La Altagracia	25	24	1	25	1	4	18	3	
La Romana	25	21	4	24	2	6	15	4	
La Vega	40	33	7	40	2	12	23	2	
María T. Sánchez ..	11	8	3	8	3	1	8	2	
Monte Cristi	5	4	1	5	-	1	2	2	
Monte Plata	27	19	8	31	1	8	16	-	
Mons. Nouel	15	14	1	17	-	5	9	1	
Peravia	24	23	1	24	-	8	11	4	
Puerto Plata	24	22	2	27	-	4	9	9	
Salcedo	8	8	-	9	-	2	6	-	
Samaná	14	14	-	18	-	5	7	2	
San Cristóbal	47	45	2	57	2	18	24	5	
Sánchez Ramírez ..	12	11	1	12	-	3	8	1	
San Juan	32	31	1	35	-	7	19	6	
San Pedro	24	19	5	25	-	6	16	2	
Santiago	87	78	9	99	2	34	44	10	
Stgo. Rodríguez ..	3	2	1	3	-	1	1	1	
Valverde	17	13	4	18	3	4	8	5	
Totales	908	815	93	974	27	325	446	112	23

18. ドミニカ共和国胡椒開発計画専門家安全対策調査

記入日：1992.6.

ドミニカ共和国胡椒開発計画専門家安全対策調査

フェーズII事前調査団

専門家氏名： _____ 同伴家族： _____ 在動地： _____

任 期： _____ ~ _____ 指導分野： _____ 住居の形態： ・独立家屋
 ・集合住宅
 (_____ 階建 _____ 階)
 ・その他

A. 居住地の治安状況

一般的状況： 良い やや悪い 悪い 極めて悪い(恒常的に事件発生)
 経年的変化： 年々悪化している あまり変わらない その他

B. 住居の周囲の状況

浮浪者等のたまり場がある 人けがない その他 (_____)
 家の前方 後方 向かって左 向かって右

C. 住居の外周(外壁)

塀の高さ： 家の前方 _____ m 後方 _____ m 向かって左 _____ m 向かって右 _____ m
 塀の材質： コンクリート・ブロック 木製・竹 その他 忍び返し有無
 入口の門： 鉄板 鉄の格子 夜間の施錠： する・しない
 塀または門を通して敷地のなかが： 見える・見えない

D. 住居敷地内

防 犯 灯： 夜間庭に暗がりが生じない程度に十分 不十分 ない
 ガードマン雇用： 人数 (_____) 人、形態(警備会社・個人・その他)、時間 (_____)、経費 (_____)
 JICA補助(有・無)、その他 _____
 番 犬： 飼っている 近々飼う予定 いない(理由： _____)

E. 家屋の入口・窓

玄 関： 扉の材質： 木製 ・ 鉄製 ・ 鉄格子 ・ 二重
 カギの種類と個数かんぬき： 南京錠 その他
 勝手口・裏口： 扉の材質： 木製 ・ 鉄製 ・ 鉄格子 ・ 二重
 カギの種類と個数かんぬき： 南京錠 その他
 警報器の有無： 設置場所： _____ 警報器のしくみ： _____
 窓の鉄格子： 有・無 設置状態： 単にビス止め ・ 溶接している

F. 寝室の状況

場 所： 1階 ・ 2階 (2階の場合： 2回の入口に扉、鍵が 有 ・ 無)
 寝室入口扉： 鍵： 有 ・ 無 / 種類： _____ / 個数： _____ 個
 就寝時の施錠： する ・ しない
 寝室の窓： 鉄格子： 有 ・ 無 / 設置状態： 単にビス止め ・ 溶接している
 通信手段： 電 話： 有 ・ 無 / その他
 防犯機器： 防犯サイレン： 有 ・ 無 / 警報機： 有 ・ 無 / その他
 お金の保管： 保管場所 _____、常時保管している金額 US\$ / T/C\$/ _____ ペソ
 使用人等に常時大金を置いていると思わせない配慮を意識的にしている・していない
 (例：大きな支払いのまえには必ず銀行にゆく、大金は見せない、その他 _____)

G. 緊急時の連絡網

チーム内、JICA関係者内、邦人関係者内で整備されている・いない

盗難被害等にあった場合：

- ・チーム・リーダーまたは調整員へ即座に口頭報告する・しない / 更に追って文書報告する・しない
- ・JICAへの報告はどうなっているか。()
- ・警察への通報 する・しない (理由:)
- ・ド側への報告はどうなっているか。()

I. 赴任してからこれまで自分の住居で発生した盗難等の事件

H. 赴任してからこれまでの住居周辺で発生した盗難等の事件 (大堂専門家事件を除く)

I. 勤務先への通勤途上の治安上の問題点

J. 勤務先 (プロジェクト・サイト、展示農場を含む) での治安上の問題点

K. 住居の安全対策を中心として、これまでどのような改善策を講じましたか。
(防犯設備の強化、情報収集、心構え等を含む。時期及びJICAの補助の有無も記して下さい。)

L. 任地で安全確保上、今後必要と思われる安全対策
: 専門家本人が行う事項

: JICAへの要望事項 (大使館を含む)

: ドミニカ側への要望事項

M. 短期専門家の安全対策上の留意事項

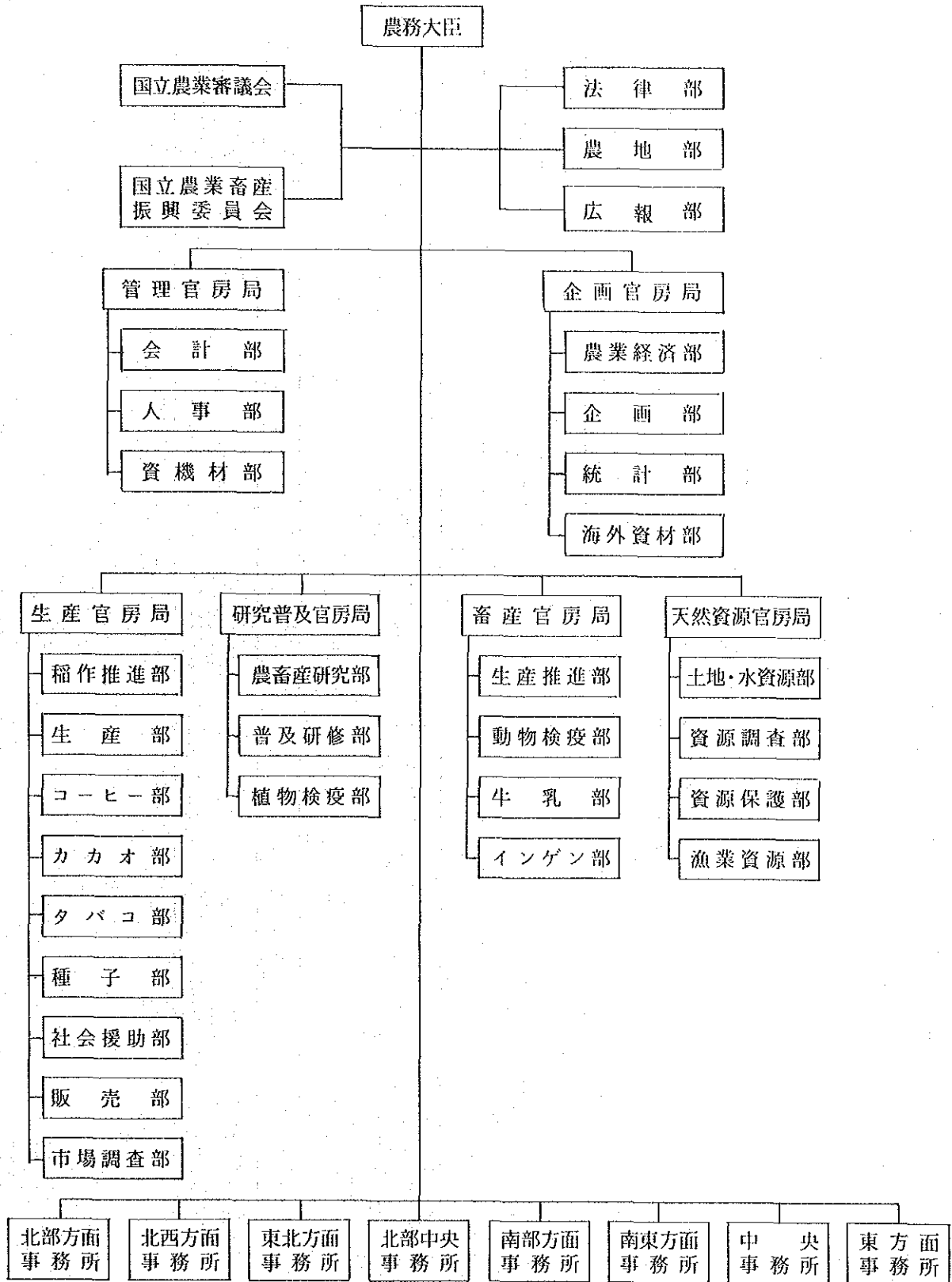
N. 今後派遣される専門家への安全対策上の助言
・心構え・留意事項

・持参すると有効な防犯機器等

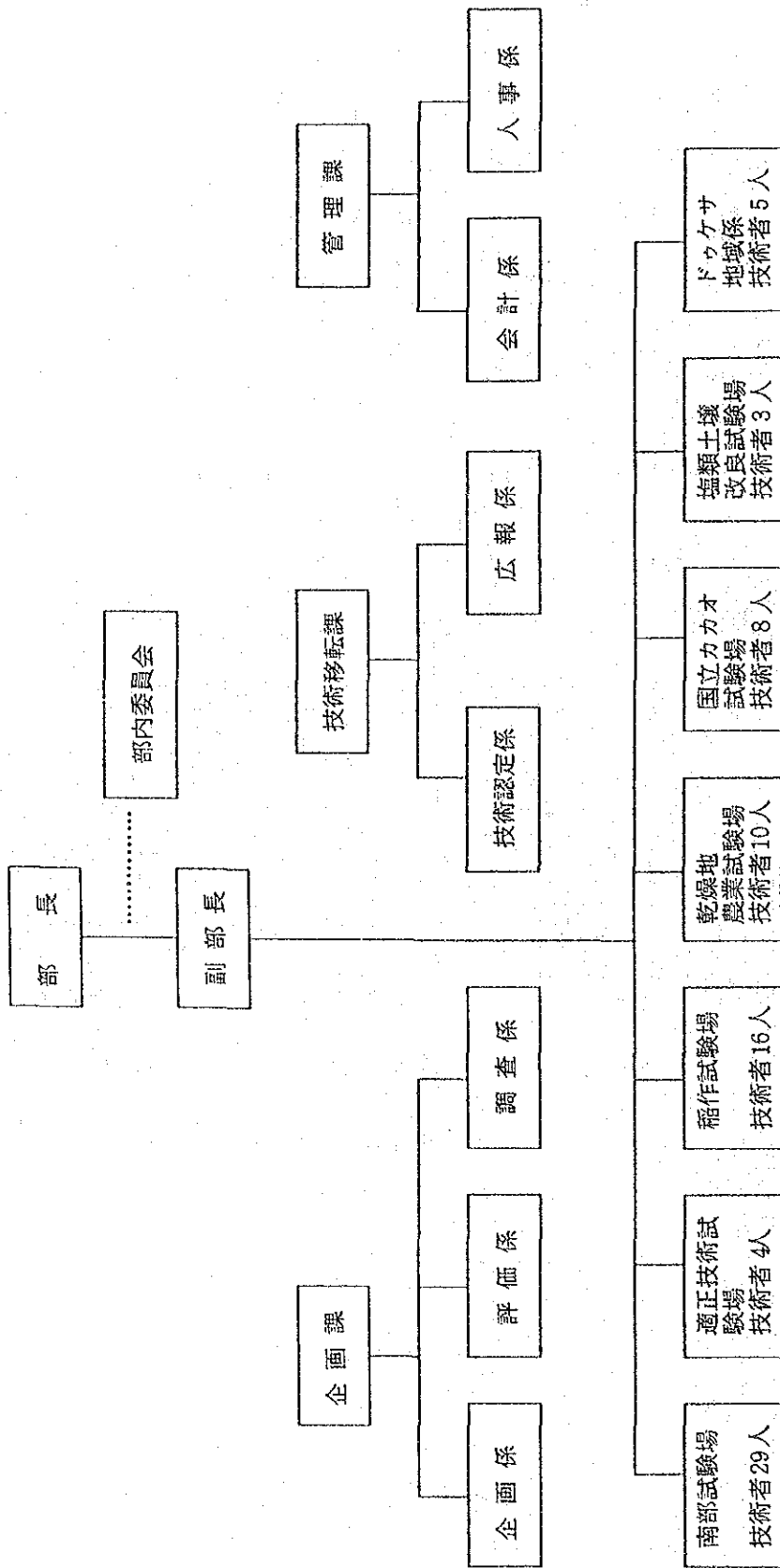
O. その他

19. 農務省関係組織図

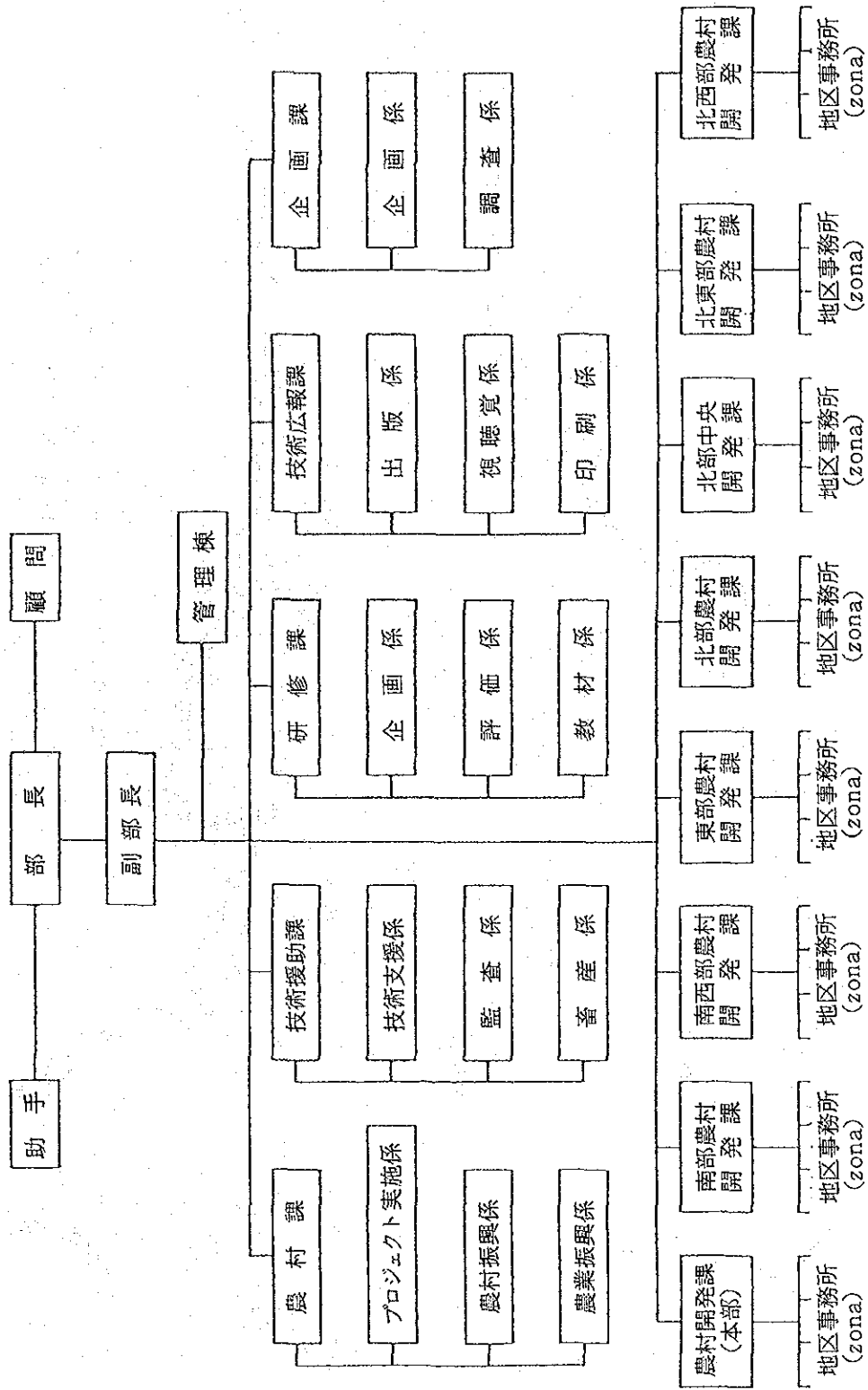
(1) 農務省組織図



(2) 農務省農畜産研究部組織図

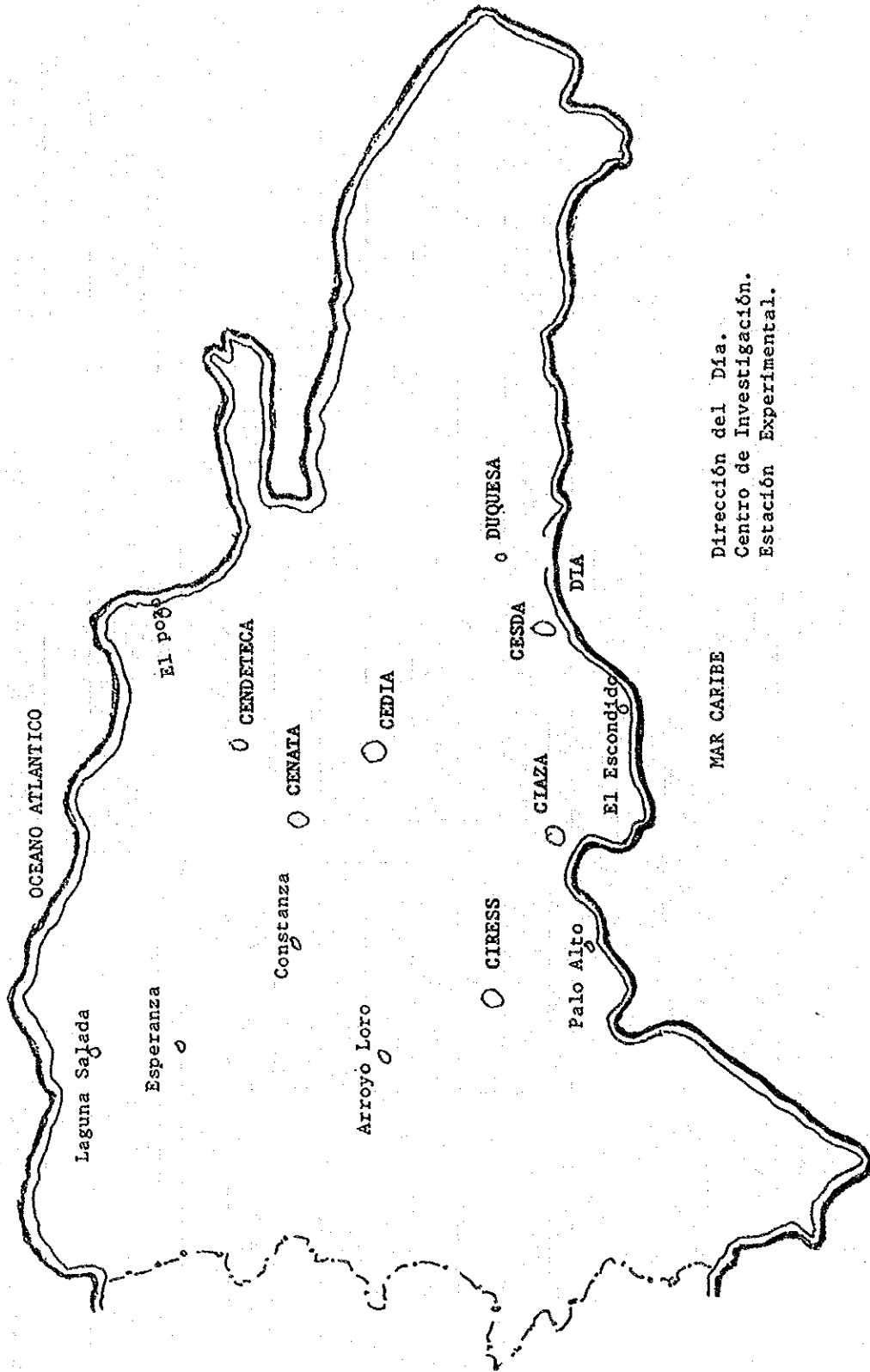


(3) 農畜産普及研修部組織図



(4) DEPARTAMENTO INVESTIGACIONES AGROPECUARIAS (DIA)

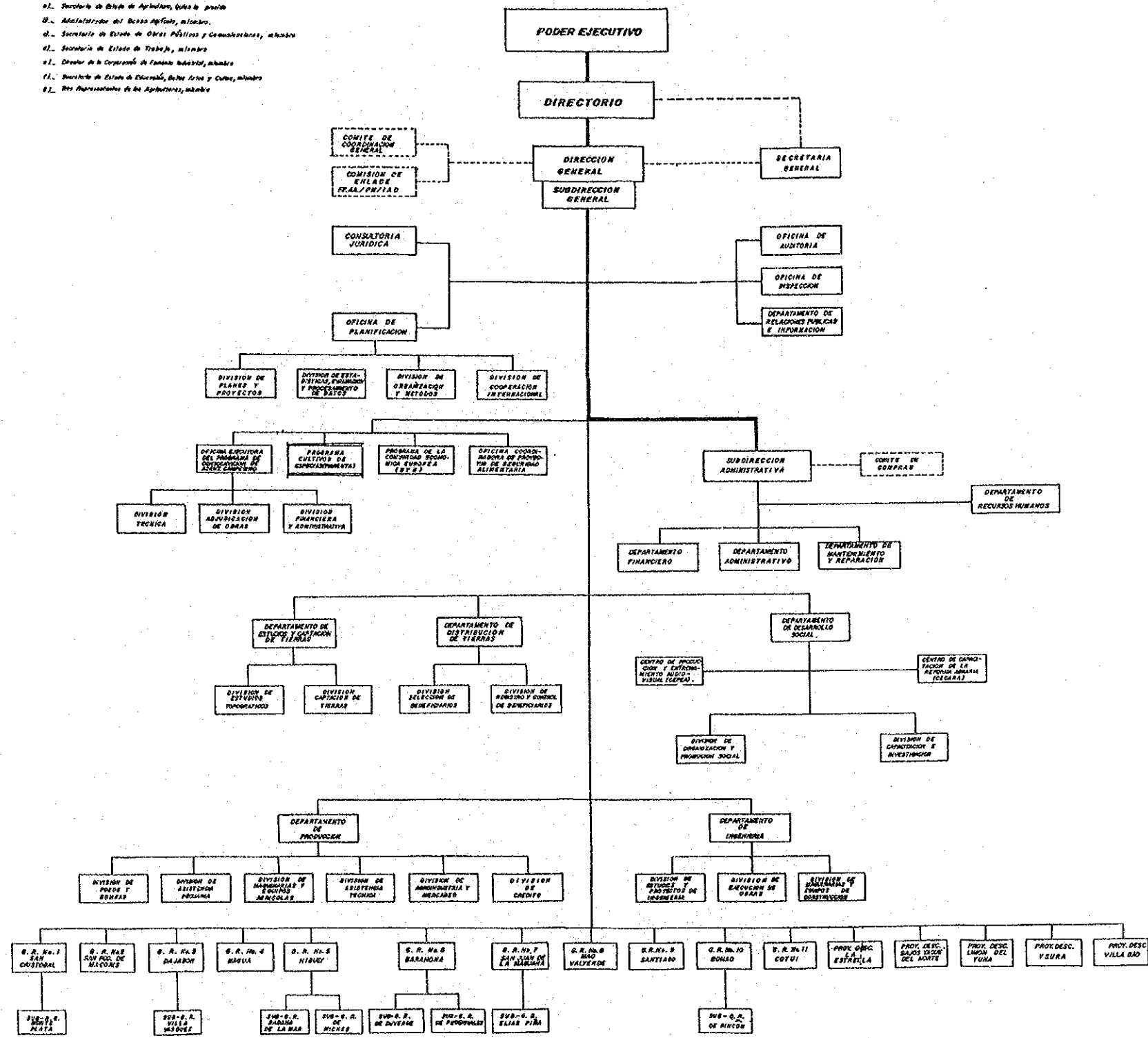
DISTRIBUCION GEOGRAFICA DE LOS CENTROS DE INVESTIGACIONES Y ESTACIONES EXPERIMENTALES



20. 農地庁組織図

INSTITUTO AGRARIO DOMINICANO
ORGANIGRAMA

- INTEGRANTES DEL DIRECTORIO
- a). Secretario de Estado de Agricultura, quien lo preside
 - b). Asesorador del Secretario Agrario, miembro
 - c). Secretario de Estado de Obras Públicas y Comunicaciones, miembro
 - d). Secretario de Estado de Trabajo, miembro
 - e). Director de la Corporación de Fomento Industrial, miembro
 - f). Director de Estado de Educación, Deporte y Cultura, miembro
 - g). Dos Representantes de los Agricultores, miembros



OyM, 7/91

21. 農地庁入植地関係資料

表-1 農地庁の入植地に於ける農民の土地所有面積概要

農耕地;	30~60㌧
牧草地;	75~300㌧
その他(森林);	100~500㌧

尚、土地を持っていない農民が400,000名存在する。

表-2 農地庁の入植地に於ける土地利用状況(1991年)

単位;㌧

農地面積	3,819,169
水が利用出来る農地	1,084,496
水が利用出来ない農地	2,734,673
牧草地面積	1,653,922
森林面積	1,261,158
合計	6,734,249

(注) 農林業のスペシャリストによると入植地の50%(3,367,125㌧)は森林と言う話もある。

1ha=16㌧

表-3 農地庁の入植地に於ける、分配面積、農家数及び家族人数

年度	入植地の数	面積	各入植地の大きさ	農家数	一農家の土地面積	家族人数	一農家の家族人数
1961-1987	321	6,521,834	20,314	72,743	89.6	460,331	6.3
1988	06	69,509	11,584	703	98.8	4,156	5.9
1989	3	25,653	8,551	4,156	6.1	4,237	1.0
1990	18	90,340	5,018	703	128.5	14,205	20.2
1991	10	45,836	4,583	746	61.4	10,743	14.4
1992 *	02	5,500	2,750	132	41.6	726	5.5
合計 (平均)	360	6,758,672	18,774	79,183	85.3	494,404	6.8

* 1992年4月現在
面積は外ア； 1ha=16外ア

表-4 農地庁が胡椒開発プロジェクトに関係する地方事務所の職員数

地方事務所	展示農場名	技術者数	事務員数
COTUI	TOJIN	32	92
NAGUA	LA MAJAGUA	35	218
SAN FRANCISCO DE MACORIS		39	184
SAN CRISTOBAL	SIERRA PRIETA	67	242
合計		173	736

第 IV 部

討議議事録 (R/D) 及び

暫定実施計画 (TSI)



▲ 向かって左から、タバレス農地庁長官、ニコラス農務大臣、
吉村所長、松田リーダー代行及び後藤専門家



▲ R/D 及び TSI 署名 (後方は JICA 事務所矢内氏)

1. 事前調査終了から討議議事録及び暫定実施計画署名までの経緯

ドミニカ共和国胡椒開発計画フェーズⅡ事前調査団は1992年5月29日より同年6月12日まで派遣された。同調査結果等を踏まえ、6月16日、JICA事理会において「適確な安全対策が講じられることを前提にして、JICA事務所長を通じてフェーズⅡに係るR/D及びTSIに署名、協力を継続」する方針が承認された。更に6月30日、本件事前調査団及び長期調査員の合同帰国報告会が開催され、同報告会に引き続いて開催された本件フェーズⅡに係る各省会議の席上、「フェーズⅡ、5年間の協力を実施」する方針が承認された。

以上を受け、7月1日、JICA本部より現地事務所長に対し、本件フェーズⅡ事前調査団とド側との間で合意されたR/D案及びTSI案をもとに、幾つかの語句の修正（事前調査団帰国後に外務省よりコメントがあったもので、内容的な変更はなかった）を行った後に署名するよう指示し、この結果、7月3日、吉村政雄事務所長とド側農務大臣及び農地庁長官の三者の間でR/D及びTSIが署名されたものである。

2. 討議議事録 (R/D)

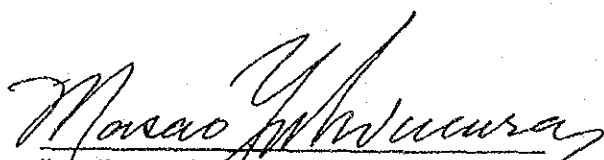
(1) 英 文

THE RECORD OF DISCUSSIONS
BETWEEN THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF JAPAN
AND THE GOVERNMENT OF THE DOMINICAN REPUBLIC
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION
FOR THE PEPPER CULTURE DEVELOPMENT PROJECT PHASE II
IN THE DOMINICAN REPUBLIC


With regard to the recommendation of the Minutes of Discussions of the Preliminary Survey dated June 9, 1992, the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") had a series of discussions through the Resident Representative of JICA in the Dominican Republic with the authorities concerned of the Government of the Dominican Republic in view of the desirable measures to be taken by both Governments for the Japanese Technical Cooperation Program for the Pepper Culture Development Project Phase II.

As a result of the discussions, JICA and the authorities concerned of the Government of the Dominican Republic agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the Attached Document. This text is written in English and Spanish, both of which are equally official. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

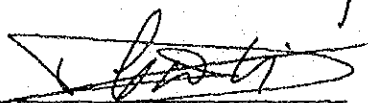
Santo Domingo, the Dominican Republic
July 3, 1992



Mr. Masao Yoshimura
Resident Representative,
Japan International Cooperation Agency,
the Dominican Republic



Mr. Nicolás Concepción G.
Minister,
Ministry of Agriculture,
the Dominican Republic



Mr. Gustavo A. Tavárez R.
Director General,
Dominican Agrarian Institute,
the Dominican Republic

THE ATTACHED DOCUMENT

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Dominican Republic will cooperate with each other in implementing the Pepper Culture Development Project Phase II (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose of further developing pepper culture technology and training agricultural technicians and extension workers, and thus contributing to the agricultural development in the Dominican Republic.
2. The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I .

II. DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in ANNEX II through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.
2. The Japanese experts referred to in 1. above and their families will be granted the privileges, exemptions and benefits as listed in ANNEX III in the Dominican Republic no less favourable than those granted to experts of third countries or international organizations performing similar missions in the Dominican Republic.

III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX IV through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.
2. The Equipment referred to in 1. above will become the property of the Government of the Dominican Republic upon delivery c.i.f. to the Dominican authorities concerned at the ports and/or airports of

disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II .

IV. TRAINING OF DOMINICAN COUNTERPART PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Dominican counterpart personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the Technical Cooperation Scheme of Japan.
2. The Government of the Dominican Republic will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Dominican counterpart personnel from technical training in Japan be utilized effectively for the implementation of the Project.

V. SERVICES OF DOMINICAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Dominican Republic, the Government of the Dominican Republic will take necessary measures to secure at its own expense necessary services of the Dominican counterpart and administrative personnel as listed in ANNEX V .
2. The Government of the Dominican Republic will allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be dispatched by the Government of Japan as specified in ANNEX II to fulfill the effective and successful transfer of technology under the Project.

VI. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE DOMINICAN REPUBLIC

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Dominican Republic, the Government of the Dominican Republic will take necessary measures to provide at its own expense:
 - 1) Land, buildings and facilities as listed in ANNEX VI;
 - 2) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above;

- 3) Transportation facilities and travel allowance for the official travel of Japanese experts within the Dominican Republic;
 - 4) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families.
2. In accordance with the laws and regulations in force in the Dominican Republic, the Government of the Dominican Republic will take necessary measures to meet:
- 1) Expenses necessary for the transportation of the Equipment referred to in III above within the Dominican Republic as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
 - 2) Custom duties, internal taxes and other charges imposed in the Dominican Republic on the Equipment referred to in III above;
 - 3) All running expenses necessary for the implementation of the Project.

VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. Vice-Minister of Investigation and Extension, Ministry of Agriculture (hereinafter referred to as "SEA"), will bear overall responsibility for the implementation of the Project.
2. Vice-Director General, Dominican Agrarian Institute (hereinafter referred to as "IAD"), as the Head of the Project will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project.
3. The Japanese Team Leader will provide necessary recommendations and advice on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to the Head of the Project.
4. The Japanese Coordinator will assist the Japanese Team Leader in managerial and administrative matters. He will also provide necessary recommendations and advice to his Dominican counterpart personnel.
5. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Dominican counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project.
6. For the effective and successful implementation of the Project, a Joint Committee will be established with the function and composition as

referred to in ANNEX VII.

VIII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

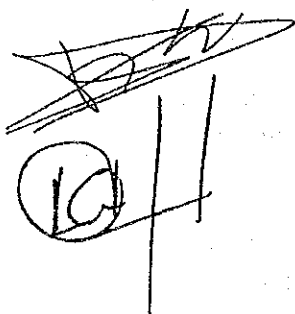
The Government of the Dominican Republic will undertake to bear claims, if any arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Dominican Republic except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

IX. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

X. TERM OF COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be five (5) years from July 7, 1992.

Handwritten signature and initials, possibly 'J. H.' or similar, with a circled '10' below it.Handwritten signature, possibly 'J. H.' or similar.

ANNEX

I. MASTER PLAN

1. Objective of the Project

The Project is to be carried out for the purpose of further developing the pepper culture technology and training agricultural technicians and extension workers, and thus contributing to the agricultural development in the Dominican Republic.

2. Activities of the Project

To attain the above mentioned objective, the Japanese technical cooperation activities will be implemented in the form of technical guidance and advice to the Dominican counterpart personnel in the following subjects:

(1) Development of Appropriate Pepper Culture Technology and Formulation of Farming Plan

- 1) Development of Culture Technology
- 2) Development of Soil and Nutrition Technology
- 3) Development of Plant Protection Technology
- 4) Establishment of Production System for Healthy Seedlings
- 5) Development and Establishment of Post-harvest Processing System
- 6) Formulation of Farming Plan

(2) Demonstration of the Developed Technology and Training

- 1) Demonstration of the Developed Technology on the Trial Farms
- 2) Training of Agricultural Technicians and Extension Workers

- Note: (1) The Head Office will be established at Dominican Agrarian Institute in Santo Domingo.
- (2) The main project activities will be carried out at National Cacao Technology Development Center (CENDETECA) in San Francisco de Macoris and the three Trial Farms at Sierra Prieta (Yamasa), Tojin (Cotui) and La Majagua (Sanchez).

II. JAPANESE EXPERTS

Category	Field
1. Team Leader	
2. Coordinator	
3. Experts in the field of :	(1) Culture
	(2) Soil and Nutrition
	(3) Plant Protection
	(4) Planning of Farming

Note : (1) Team Leader and Coordinator may serve concurrently as an expert respectively in one of the fields mentioned.

(2) Short-term experts in the related fields will be dispatched when necessity arises for the smooth implementation of the Project.

III. PRIVILEGES, EXEMPTIONS AND BENEFITS

1. Exemptions from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad.
2. Exemptions from import duties and any other charges in respect of personal and household effects including one motor vehicle per expert which may be brought into the Dominican Republic from abroad.
3. In case of accident or emergency, the Government of the Dominican Republic will extend assistance with all its available means to obtain the medical and other necessary assistance to the Japanese experts and their families.

IV. LIST OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. Equipment, machinery, instruments, tools, spare parts and other materials necessary for laboratory work.
2. Equipment, machinery, instruments, tools, spare parts and other materials necessary for field work.
3. Equipment and materials necessary for post-harvest processing
4. Fertilizers, pesticides and chemicals.

5. Vehicles.
6. Books and other necessary printed materials.
7. Audio-Visual and other training equipment and materials.
8. Other necessary equipment and materials for the activities of the Project referred to in ANNEX I .

V. LIST OF DOMINICAN COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Head of the Project : Vice-Director General, IAD.
2. Coordinators: Coordinator, SEA.
 Coordinator, IAD.
3. Counterpart personnel in the field of :
 - (1) Culture : SEA, IAD.
 - (2) Soil and Nutrition : SEA, IAD.
 - (3) Plant Protection : SEA, IAD.
 - (4) Planning of Farming : SEA, IAD.
4. Administrative Personnel
 - (1) Clerical Personnel
 - (2) Driver and Operator
 - (3) Field Worker
 - (4) Other necessary supporting staff

VI. LIST OF LAND, BUILDINGS AND FACILITIES

~~Land~~
Land
10/1

- (1) Nursery Field.
- (2) Experimental Field.
- (3) Trial Farms.
- (4) Other sites to be designated for the Project.

2. Building and Facilities

- (1) Administration Office.
- (2) Garages

- (3) Store-houses for machinery and other materials.
- (4) Laboratory of soil-analysis.
- (5) Laboratory of plant pathology.
- (6) Laboratory of plant physiology.
- (7) Post-harvest processing facilities.
- (8) Lecture rooms and other necessary training facilities.
- (9) Dormitory.
- (10) Water and energy supply facilities.
- (11) Nursery facilities.
- (12) Other necessary facilities for the Project.

VII. THE JOINT COMMITTEE

The Joint Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises.

1. Function

- (1) To formulate the annual work plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation formulated under the framework of the Record of Discussions.
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievements of above annual work plan.
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.

2. Composition

(1) Chairman : Vice-Minister of Investigation and Extension, SEA.

(2) Members :

1) Dominican side :

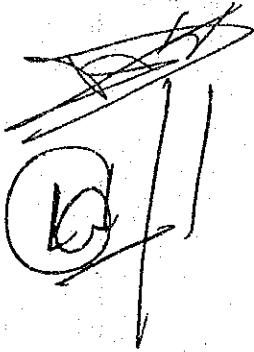
- * Vice-Director General, IAD (the Head of the Project)
- * Project Coordinator, SEA.
- * Director, Department of Investigation, SEA.
- * Director, Department of External Resources, SEA.
- * Head, the North-east Regional Office, SEA.
- * Director, CENDETECA, SEA.
- * Head, Division of Pepper and Spices, CENDETECA, SEA.
- * Project Coordinator, IAD.

- * Head, Planning Department, IAD.
- * Head, Production Department, IAD.
- * Head, Regional Office in Nagua, IAD.
- * Head, Regional Office in Cotui, IAD.
- * Head, Regional Office in San Cristobal, IAD.

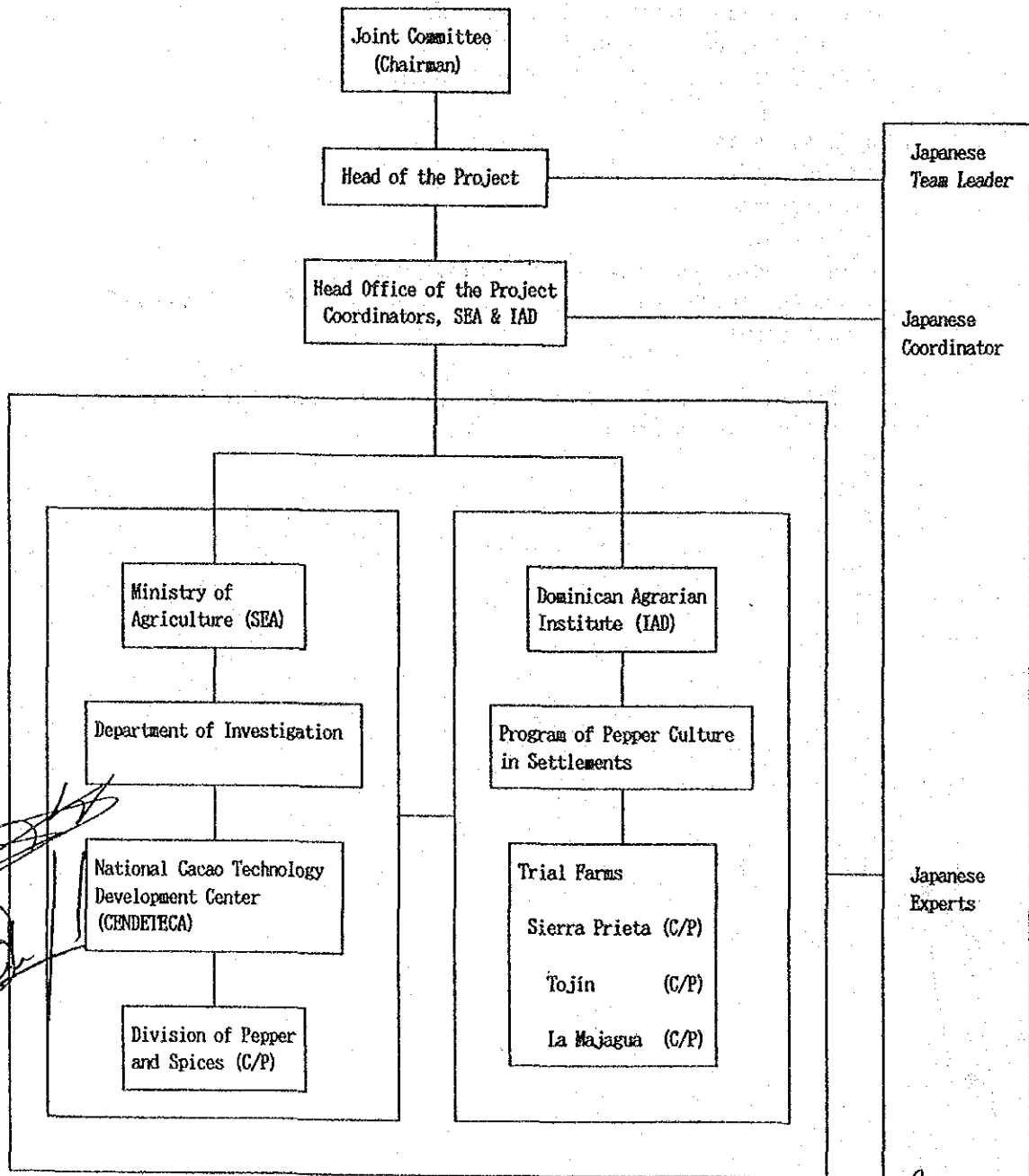
2) Japanese side :

- * Team Leader.
- * Coordinator.
- * Experts.
- * Representative from JICA Dominican Office.
- * Other personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary.

Note: Official(s) of the Embassy of Japan may attend the Joint Committee as observer(s).

A handwritten signature and initials in the bottom left corner. The signature is a stylized, cursive name, and below it are the initials 'Gf' enclosed in a circle.A handwritten signature in the bottom right corner, consisting of a stylized, cursive name.

VII. ORGANIZATIONAL CHART OF THE PROJECT IN THE DOMINICAN REPUBLIC



* C/P stands for the Dominican counterpart personnel.

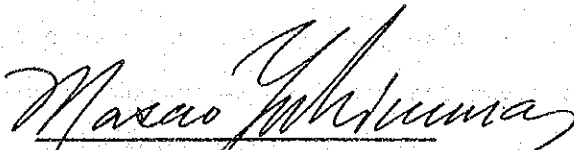
(2) 西 文

EL ACTA DE LAS DISCUSIONES
ENTRE
LAS AUTORIDADES PERTINENTES DE LOS GOBIERNOS DEL JAPON
Y
DE LA REPUBLICA DOMINICANA
SOBRE
LA COOPERACION TECNICA JAPONESA PARA LA FASE II
DEL PROYECTO DE DESARROLLO DEL CULTIVO DE LA PIMIENTA
EN LA REPUBLICA DOMINICANA

Con respecto a las recomendaciones de la Minuta de las Discusiones de la Misión de Estudio Preliminar de fecha 9 de junio de 1992, la Agencia de Cooperación Internacional del Japón (en lo adelante referido como "JICA") tuvo una serie de discusiones con las autoridades del Gobierno de la República Dominicana a través del representante de JICA en el país, para considerar las medidas necesarias que serán tomadas por ambos gobiernos, referente al Programa de Cooperación Técnica Japonesa para la Fase II del Proyecto de Desarrollo del Cultivo de Pimienta.

Como resultado de las discusiones, JICA y las autoridades correspondientes del Gobierno Dominicano, acordaron recomendar a sus respectivos gobiernos, la aceptación de los asuntos contenidos en El Documento Adjunto. Redactado en Inglés y Español, ambas versiones son igualmente oficiales. En caso de divergencia en la interpretación del texto, el inglés prevalecerá.

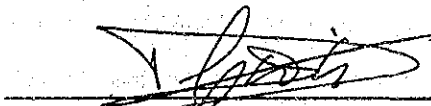
Santo Domingo, República Dominicana, 3 de julio de 1992.



SR. MASAO YOSHIMURA
DIRECTOR,
AGENCIA DE COOPERACION INTER-
NACIONAL DEL JAPON EN LA
REPUBLICA DOMINICANA



SR. NICOLAS CONCEPCION G.
SECRETARIO DE ESTADO,
SECRETARIA DE ESTADO DE AGRICULTURA,
REPUBLICA DOMINICANA



SR. GUSTAVO A. TAVAREZ R.
DIRECTOR GENERAL,
INSTITUTO AGRARIO DOMINICANO,
REPUBLICA DOMINICANA

EL DOCUMENTO ADJUNTO

I. COOPERACION ENTRE AMBOS GOBIERNOS

1. Los Gobiernos del Japón y de la República Dominicana cooperarán entre sí en la implementación de la FASE II del Proyecto de Desarrollo del Cultivo de Pimienta (en lo adelante referido como "El Proyecto") con el propósito de seguir desarrollando la tecnología del cultivo de pimienta y el entrenamiento de técnicos y trabajadores de extensión, contribuyendo al desarrollo de la agricultura en la República Dominicana.
2. El Proyecto será ejecutado de acuerdo al Plan Maestro que se detalla en el Anexo I.

II. ENVIO DE EXPERTOS JAPONESES

1. El Gobierno del Japón, sujeto a las leyes y regulaciones en el Japón tomará las medidas de lugar a través de JICA para proveer a su propio costo, los servicios de los expertos japoneses según lo estipulado en el ANEXO II, mediante los procedimientos normales según los lineamientos de la Cooperación Técnica del Japón.
2. Los expertos japoneses referidos en el párrafo 1 anterior y sus familiares, serán objetos de privilegios, exenciones y beneficios en la República Dominicana según lo estipulado en el ANEXO III y en condiciones no menos favorables a las otorgadas a aquellos expertos de terceros países o de organizaciones internacionales quienes cumplen funciones similares en la República Dominicana.

I I I. PROVISION DE MAQUINARIAS Y EQUIPOS

1. El Gobierno del Japón, sujeto a las leyes y regulaciones vigentes en el Japón, tomará las medidas de lugar a través de JICA para proveer a su propio costo, aquellas maquinarias, equipos y materiales (en lo adelante referido como "Los Equipos"), necesarios para la ejecución del Proyecto, según lo estipulado en el ANEXO IV, mediante los procedimientos normales según los lineamientos de la Cooperación Técnica del Japón.
2. Los Equipos referidos en el párrafo 1 anterior se convertirán en propiedad del Gobierno Dominicano, una vez hayan sido transportados (CIF) a las Autoridades Dominicanas competentes en los puertos y/o aeropuertos de desembarque, y se destinarán exclusivamente a la ejecución del Proyecto en consulta con los expertos referidos en el ANEXO II.

I V. ENTRENAMIENTO DEL PERSONAL DE CONTRAPARTIDA DOMINICANO EN EL JAPON

1. El Gobierno del Japón, sujeto a las leyes y regulaciones vigentes en el Japón, tomará las medidas de lugar a través de JICA para recibir a su propio costo, al personal contraparte dominicano del Proyecto a fin de que reciba entrenamiento técnico en el Japón, mediante los procedimientos normales según los lineamientos de la Cooperación Técnica del Japón.
2. El Gobierno Dominicano tomará las medidas de lugar a fin de que los conocimientos y experiencias adquiridos por el personal contraparte dominicano durante su entrenamiento en el Japón, se destinen efectivamente a la ejecución del Proyecto.

V. SERVICIOS DE CONTRAPARTIDA DOMINICANA Y PERSONAL ADMINISTRATIVO

1. De acuerdo con las leyes y regulaciones vigentes en la República Dominicana, el Gobierno Dominicano tomará las medidas necesarias para asegurar por cuenta propia los servicios de la contraparte dominicana y el personal administrativo especificados en el ANEXO V.
2. Referente al personal contraparte dominicano, el Gobierno Dominicano asignará el número de contraparte necesario y calificado a cada experto japonés enviado por el Gobierno del Japón especificados en ANEXO II, para completar la efectiva y exitosa transferencia de tecnología del Proyecto.

VI. MEDIDAS A TOMAR POR EL GOBIERNO DE LA REPUBLICA DOMINICANA

1. El Gobierno Dominicano, sujeto a las leyes y regulaciones vigentes en la República Dominicana, tomará las medidas de lugar para proveer a su propio costo, lo siguiente:
 - 1) Terrenos, edificios e instalaciones según lo estipulado en el ANEXO VI.
 - 2) Proveer o reponer maquinarias, equipos, instrumentos, vehículos, herramientas, repuestos y cualquier otro material necesario para la ejecución del Proyecto, en adición a aquellos suministrados por JICA tal y como se establece en la Cláusula III.
 - 3) Facilidades de transporte y viáticos a los expertos japoneses para sus recorridos en funciones oficiales dentro de la República Dominicana.

4) Viviendas adecuadamente amuebladas para los expertos japoneses y sus familiares.

2. El Gobierno Dominicano, sujeto a las leyes y regulaciones vigentes en la República Dominicana, tomará las medidas de lugar para cubrir:

1) Los gastos de transporte dentro de la República Dominicana de los equipos referidos en la Cláusula III, así como su instalación, operación y mantenimiento.

2) Derechos aduanales, impuestos internos y de cualquier otra naturaleza, gravados en la República Dominicana sobre los equipos referidos en la Cláusula I.

3) Todos los gastos operativos que requiera la ejecución del Proyecto.

V I I. ADMINISTRACION DEL PROYECTO

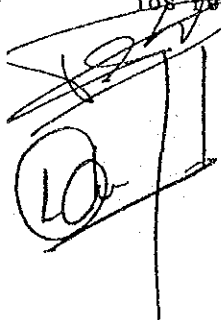
1. El Sub-Secretario de Investigación, Extensión y Capacitación, de la Secretaría de Estado de Agricultura (en lo adelante referido como "SEA"), tendrá la responsabilidad de la implementación del Proyecto.

2. El Sub-Director General del Instituto Agrario Dominicano (en lo adelante referido como "IAD"), será el Director del Proyecto y tendrá la responsabilidad de la administración y dirección del Proyecto.

3. El Líder de los expertos japoneses hará las recomendaciones y sugerencias de lugar al Director del Proyecto, sobre asuntos técnicos y administrativos relacionados a la ejecución del Proyecto.
4. El coordinador japonés asistirá al líder japonés en asuntos gerenciales y administrativos. Y dará las recomendaciones y sugerencias necesarias a la contraparte dominicana.
5. Los expertos japoneses darán asesoría técnica al personal dominicano de contrapartida en los asuntos relativos a la ejecución del Proyecto.
6. Se establecerá un Comité Mixto cuya función y composición se indican en el ANEXO VII, a fin de que el Proyecto se ejecute en forma eficaz y satisfactoria.

V I I I . RECLAMACIONES A LOS EXPERTOS JAPONESES

El Gobierno Dominicano se hará responsable de las reclamaciones, si sugiere alguna, en contra de los expertos japoneses asignados al Proyecto, si éstas se originasen como resultado del cumplimiento de sus deberes, en el mismo, o en relación a hechos acaecidos durante dicho cumplimiento, salvo en los casos que ambos Gobiernos se pongan de acuerdo en que dichas reclamaciones son frutos de alguna grave negligencia o mala conducta intencional por parte de los referidos expertos.

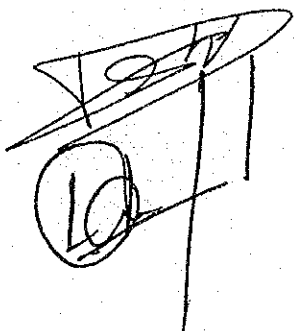


I X. MUTUA CONSULTA

Ambos gobiernos se consultarán mutuamente sobre cualquier asunto de importancia que pudiese surgir, o en relación con el presente Documento Adjunto.

X. PERIODO DE COOPERACIÓN

La duración de la cooperación técnica para el Proyecto según el presente Documento Adjunto será de cinco años a partir del 7 de julio del 1992.



ANEXO

I. PLAN MAESTRO

1. Objetivo del Proyecto

El Proyecto será llevado a cabo con el propósito de seguir desarrollando la tecnología del cultivo de la pimienta y para entrenar técnicos agrícolas y extensionistas y por ende contribuir al desarrollo de la agricultura en la República Dominicana.

2. Actividades del Proyecto

Para lograr el objetivo arriba mencionado, las actividades de la cooperación técnica japonesa serán realizadas en forma de orientación y sugerencias al personal de contrapartida dominicano en las siguientes áreas:

(1) Desarrollo de la Técnica Adecuada del Cultivo y Formulación del Plan de Manejo Agrícola

1) Desarrollo de las Técnicas del Cultivo

2) Desarrollo de las Técnicas de Suelo y Nutrición

3) Desarrollo de las Técnicas de Protección Vegetal

4) Establecimiento de un Sistema de Producción de Plantas Sanas

5) Desarrollo y Establecimiento de un Sistema de Procesamiento de Post-Cosecha

6) Formulación de Planes de Administración Agrícola

(2) Demostración de la Tecnología Desarrollada y Capacitación

1) Demostración y Validación de la Tecnología en Fincas Modelos

2) Entrenamiento a Técnicos y Agricultores

NOTA: (1) La Oficina Central del Proyecto será establecida en el Instituto Agrario Dominicano en Santo Domingo.

(2) Las principales actividades del proyecto serán llevadas a cabo en el Centro Nacional de Desarrollo Tecnológico del Cacao (CENDETECA) en San Francisco de Macorís, y en las tres Fincas Modelos ubicadas en Sierra Prieta (Yamasá), Tojín (Cotuí) y La Majagua (Sánchez).

I I. EXPERTOS JAPONESES

Categorías	Areas
1. Líder	
2. Coordinador	
3. Expertos en	(1) Cultivo (2) Suelo y Nutrición (3) Protección Vegetal (4) Planificación de Fincas

NOTA (1) El Líder y el Coordinador podrán fungir simultáneamente como expertos en una de las áreas antes mencionadas.

(2) Expertos de corto plazo en otras áreas relacionadas serán enviados cuando sea necesario para asegurar la buena marcha del Proyecto.

I I I . PRIVILEGIOS, EXENCIONES Y BENEFICIOS

1. Exenciones de los impuestos sobre la renta y cargos de cualquier naturaleza sobre o en relación con los fondos enviados desde el exterior.
2. Exenciones de los derechos aduanales y de cualquier otra naturaleza gravado sobre los efectos personales y de hogar, incluyendo un vehículo de motor por cada experto, el cual podría ser traído a la República Dominicana desde el exterior.
3. En caso de accidente o emergencia, el Gobierno Dominicano extenderá toda la asistencia necesaria, empleando todos los medios a su alcance para obtener o brindar la asistencia médica o de otra índole necesaria, a los expertos y familiares.

I V . RELACION DE MAQUINARIAS Y EQUIPOS

1. Equipos, maquinarias, instrumentos, herramientas, repuestos y otros materiales necesarios para los trabajos del laboratorio.

2. Equipos, maquinarias, instrumentos, herramientas, repuestos y otros materiales necesarios para los trabajos de campo.

3. Equipos y materiales necesarios para el procesamiento post-cosecha.
4. Fertilizantes, pesticidas y químicos.
5. Vehículos.
6. Libros y otros materiales impresos.
7. Equipo audio-visual y otros equipos y materiales de entrenamiento.
8. Otros equipos y materiales necesarios para las actividades del proyecto referido en el ANEXO I.

V. LISTA DE CONTRAPARTE DOMINICANA Y PERSONAL ADMINISTRATIVO

1. Director del Proyecto : Sub-Director General, IAD.

2. Coordinadores : Coordinador, SEA.
Coordinador, IAD.

3. Personal de Contrapartida en las áreas de:

- (1) Cultivo : SEA, IAD
(2) Suelo y Nutrición : SEA, IAD
(3) Protección Vegetal : SEA, IAD
(4) Planificación de Fincas: SEA, IAD

4. Personal Administrativo:

- (1) Personal de Oficinas.
- (2) Operadores y choferes.
- (3) Trabajadores del Campo.
- (4) Otro personal de apoyo necesario.

V I . RELACION DE TERRENOS, EDIFICIOS E INSTALACIONES

1. Terrenos:

- (1) Viveros.
- (2) Finca Experimental.
- (3) Fincas Modelos.
- (4) Otros lugares que podrán ser asignados para el Proyecto.

2. Edificios e Instalaciones :

- (1) Oficina Administrativa.
- (2) Garages.
- (3) Almacenes para maquinarias y otros materiales.
- (4) Laboratorio de análisis de suelo.
- (5) Laboratorio de Patología Vegetal.
- (6) Laboratorio de Fisiología Vegetal.
- (7) Instalaciones de Post-cosecha.
- (8) Salones de lectura y otras facilidades necesarios para capacitación.
- (9) Dormitorios.

- (10) Facilidades de suministro de agua y energía.
- (11) Instalaciones de viveros.
- (12) Otras facilidades necesarias para el Proyecto.

V I I . EL COMITE MIXTO

El Comité Mixto se reunirá por lo menos una vez al año o cuantas veces fuere necesario.

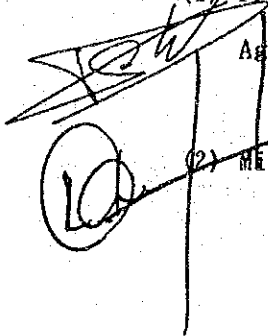
1. Funciones:

- (1) Formular el plan anual del Proyecto conforme al Calendario Tentativo de Implementación elaborado de acuerdo a los términos del Acta de Discusiones.
- (2) Verificar el progreso general del programa de cooperación técnica, así como los avances del plan anual referido anteriormente.
- (3) Revisar e intercambiar opiniones sobre asuntos importantes que surjan del programa de cooperación técnica o que estén relacionados con el mismo.

2. Composición:

- (1) Presidente: Sub-Secretario de Investigación, Extensión y Capacitación Agropecuaria, SEA.

(2) Miembros:

Handwritten signature and initials, including a circled 'L' and a vertical line.Handwritten signature.

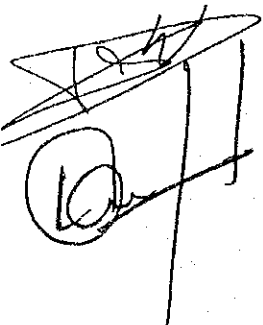
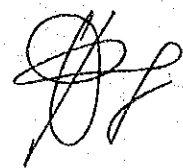
1) Parte Dominicana:

- *Sub-Director General, IAD (Director del Proyecto).
- *Coordinador, SEA.
- *Director del Departamento de Investigación, SEA.
- *Director del Departamento de Recursos Externos, SEA.
- *Director Regional Zona Nordeste, SEA
- *Director del CENDETECA, SEA.
- *Encargado de la División de Pimienta y Especies, CENDETECA, SEA.
- *Coordinador, IAD.
- *Encargado de la Oficina de Planificación, IAD.
- *Encargado del Departamento de Producción, IAD.
- *Gerente Regional de Nagua, IAD.
- *Gerente Regional de Cotuí, IAD.
- *Gerente Regional de San Cristóbal, IAD.

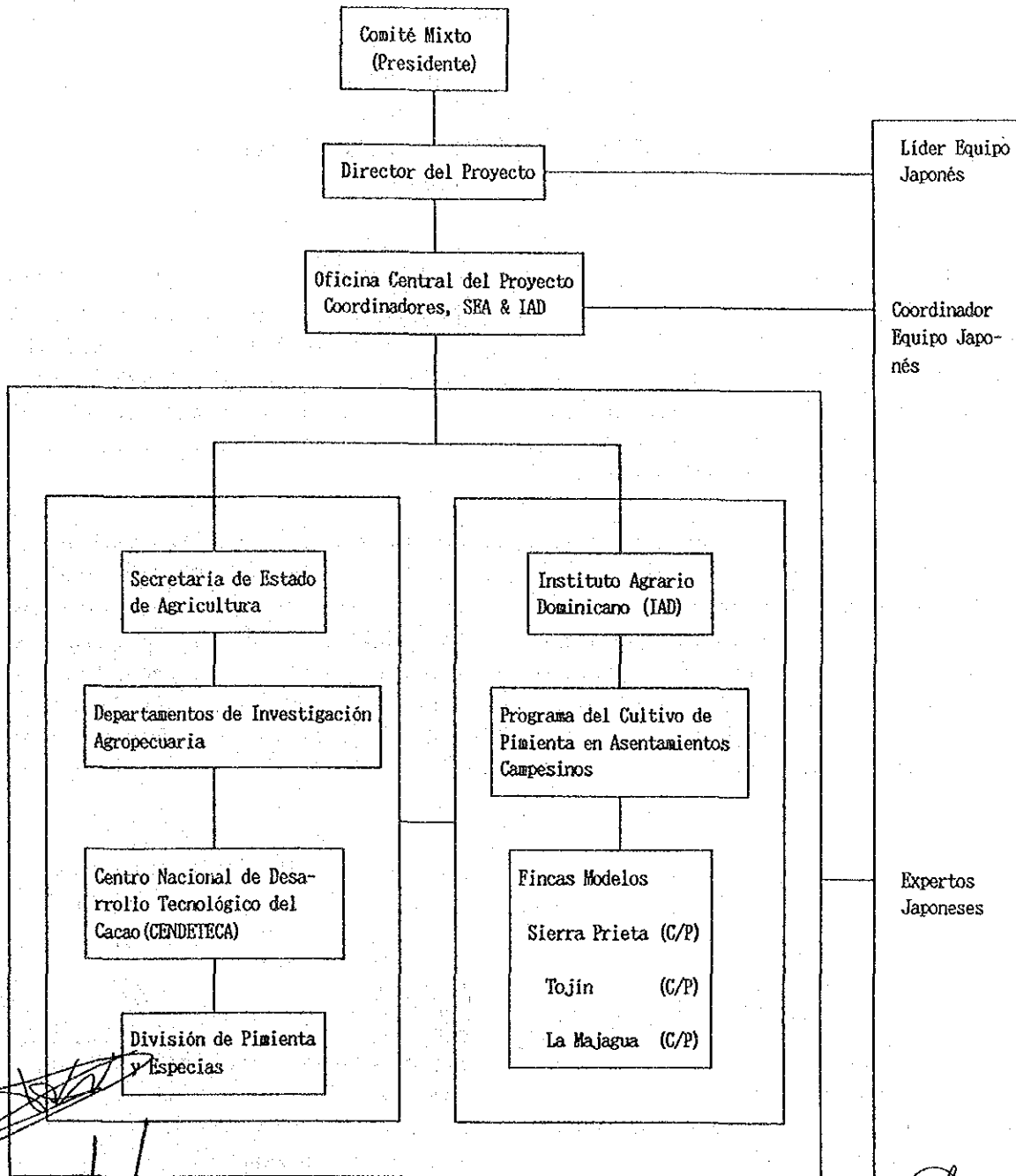
2) Parte Japonesa:

- *Líder.
- *Coordinador.
- *Expertos.
- *Representante de la Oficina de JICA en la República Dominicana.
- *Otras personas relacionadas que JICA pudiera enviar en caso necesario.

Nota: Representantes de la Embajada del Japón podrán asistir a las reuniones del Comité Mixto, en calidad de observadores.

A handwritten signature in black ink is written over a rectangular stamp. The signature is somewhat stylized and appears to be 'L. O. J.'. The stamp is mostly obscured by the signature.A handwritten signature in black ink, consisting of several loops and a long horizontal stroke, located in the lower right quadrant of the page.

VII. ORGANIGRAMA DEL PROYECTO DE LA REPUBLICA DOMINICANA



* C/P se refiere al personal de contrapartida Dominicano.

3. 暫定実施計画 (TSI)

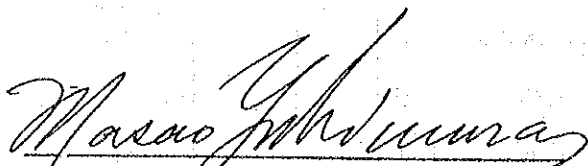
(1) 英文 (和文仮訳は、本報告書第Ⅲ部別添資料4を参照)

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR THE PEPPER CULTURE DEVELOPMENT PROJECT PHASE II IN THE DOMINICAN REPUBLIC

With regard to the recommendation of the Minutes of Discussions of the Preliminary Survey dated June 9, 1992, the Resident Representative of the Japan International Cooperation Agency in the Dominican Republic and the authorities concerned of the Government of Dominican Republic have jointly formulated the Tentative Schedule of Implementation on Technical Cooperation for the Pepper Culture Development Project Phase II (hereinafter referred to as "the Project") as attached hereto.

This Tentative Schedule of Implementation has been formulated within the scope of the Record of Discussions for the Project signed on July 3rd, 1992 on condition that the necessary budget will be allocated for the implementation of the Project and that the schedule is subject to change within the framework of the Record of Discussions when necessity arises in the course of the implementation of the Project. This text is written in English and Spanish, both of which are equally official. In case of any divergence of interpretation, the English text shall prevail.

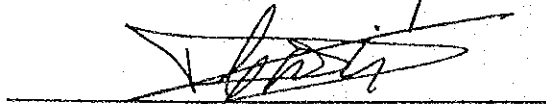
Santo Domingo, the Dominican Republic
July 3, 1992



Mr. Masao Yoshimura
Resident Representative,
Japan International Cooperation Agency
the Dominican Republic



Mr. Nicolás Concepción G.
Minister,
Ministry of Agriculture,
the Dominican Republic



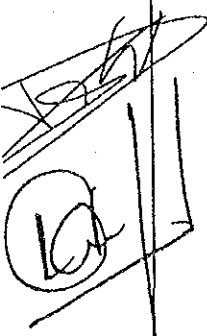
Mr. Gustavo A. Tavárez R.
Director General,
Dominican Agrarian Institute,
the Dominican Republic

(15)

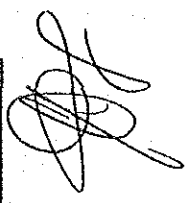
TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION FOR THE PEPPER CULTURE DEVELOPMENT PROJECT PHASE II

I. The Activities of the Project

Item	1st year	2nd year	3rd year	4th year	5th year
(Technical Cooperation Period)	Jul. 7, 1992				Jul. 6, 1997
A. Development of Appropriate Pepper Culture Technology and Formulation of Farming Plan					
1. Development of Culture Technology					
(1) Survey of growth characteristics of matured plants and prop-trees					
a) Survey of growth and yield of pepper plants					
b) Survey of growth of prop-trees					
(2) Improvement in culture techniques of matured plants					
a) Analysis of yield components					
b) Improvement in management techniques of culture					
c) Investigation of varietal characteristics and adaptability					
d) Systematization of culture techniques					
(3) Management of prop-trees					
a) Management of prop-trees					



Item	1st year	2nd year	3rd year	4th year	5th year
(4) Introduction of other condiment crops, etc. a) Culture and survey of varietal characteristics b) Development of system for mixed cropping of pepper plants and other condiment crops					
2. Development of Soil and Nutrition Technology					
(1) Establishment of standard for fertilizer application according to soil types a) Standardization of fertilizer application according to soil types					
(2) Physiological determination of adequate time of fertilizer application a) Investigation of nutritional condition at different growth stages b) Investigation of the most adequate time for fertilizer application					
(3) Investigation of effect of organic amendments on growth of pepper plants a) Investigation of the effectiveness of organic amendments					



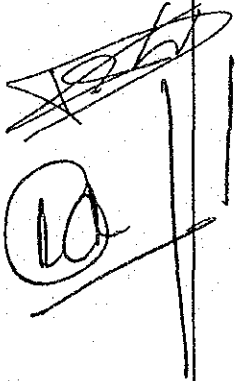
12

Item	1st year	2nd year	3rd year	4th year	5th year
b) Investigation of nutritional competition with prop-trees 3. Development of Plant Protection Technology (1) Studies on biology and ecology of pests on pepper plants a) Survey of pests on matured plants in trial farms b) Diagnosis and identification of causal agent of diseases c) Studies on the factors inducing disease development (2) Development of practical measures to control pests on pepper plants a) Studies on biological control b) Studies on physical control through improvement of soil environment c) Effective use of pesticides (3) Field survey of pests in other condiment and inter-cropping plants a) Field survey					

~~(15)~~

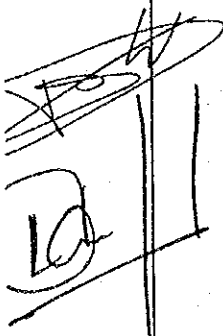
Item	1st year	2nd year	3rd year	4th year	5th year
b) Diagnosis and identification 4. Establishment of Production System for Healthy Seedlings (1) Establishment of propagation and production system for healthy seedlings a) Management of mother pepper plants b) Establishment of production system for seedlings 5. Development and Establishment of Post-harvest Processing System (1) Development of preparation and storage technology for good quality of black pepper a) Relationship between drying method and quality of black pepper b) Relationship between storage method and quality of black pepper (2) Studies on marketing system of pepper a) Formulation of tentative grade criteria on quality in the Dominican Republic					

[Handwritten signature]

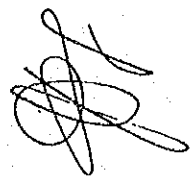


Item	1st year	2nd year	3rd year	4th year	5th year
b) Survey of domestic market and studies on sale system					
6. Formulation of Farming Plan					
(1) Studies on farming of trial farmers					
a) Studies on farming at initial stage					
b) Follow-up survey of management					
c) Guidance for book keeping					
(2) Formulation of farming plan					
a) Formulation of farming plan					
B. Demonstration of the Developed Technology and Training					
1. Demonstration of the Developed Technology on Trial Farms					
(1) Demonstration of various culture techniques					
a) Production					
b) Production costs and profitability					



(10) 

Item	1st year	2nd year	3rd year	4th year	5th year
2. Training of Agricultural Technicians and Extension Workers (1) Preparation of training materials a) Field-wise training materials b) Technical manuals c) Audiovisual materials (2) Technical Training a) Planning b) Implementation					



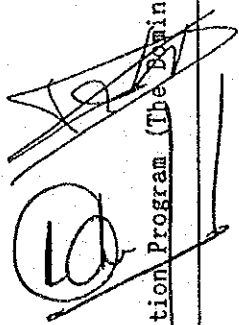
10

II. Technical Cooperation Program (The Japanese Side)

Item	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
<p>1. Dispatch of Long-term Experts.</p> <p>(1) Team Leader</p> <p>(2) Coordinator</p> <p>(3) Expert in Culture</p> <p>(4) Expert in Soil and Nutrition</p> <p>(5) Expert in Plant Protection</p> <p>(6) Expert in Planning of Farming</p> <p>* Team leader and Coordinator may serve concurrently as one of the experts.</p> <p>* Maximum five (5) experts may be dispatched at one time</p> <p>* The technical advice to the Dominican Counterparts regarding training activities will be also conducted by the experts.</p> <p>2. Dispatch of Short-term Experts.</p> <p>* When necessity arises.</p>					

10

Item	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
3. Provision of Machinery and Equipment					
4. Dominican Counterpart Training in Japan * Two or three persons every year					
5. Dispatch of Survey Missions * Technical Guidance Missions may be dispatched when necessity arises.	Plan Con- sultation	Technical Guidance	Technical Guidance (Mid-term Evalu- ation)	Technical Guidance	Evaluation

LA


III. Technical Cooperation Program (The Dominican Side)

Item	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
1. Allocation of Personnel (1) Head of the Project (2) Coordinators: Coordinator, Ministry of Agriculture (SEA) Coordinator, Dominican Agrarian Institute (IAD)					
(3) Counterpart Personnel in the field of: a) Culture : SEA IAD					
b) Soil and Nutrition : SEA IAD					
c) Plant Protection : SEA IAD					



[Handwritten signature]

Item	1st Year	2nd Year	3rd Year	4th Year	5th Year
d) Planning of Farming : SEA IAD					
(4) Administrative Personnel: SEA IAD					
2. Provision of Running Cost of the Project: SEA IAD					
3. Provision of Land, Buildings and Facilities: SEA IAD					

[Handwritten signature]

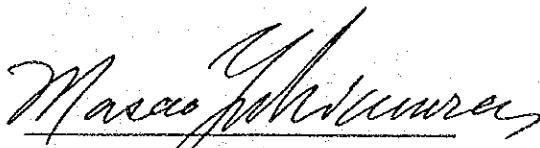
(2) 西 文

CALENDARIO TENTATIVO DE IMPLEMENTACION
DE LA COOPERACION TECNICA JAPONESA PARA LA FASE II
DEL PROYECTO DE DESARROLLO DEL CULTIVO DE LA PIMIENTA
EN LA REPUBLICA DOMINICANA

Con respecto a las recomendaciones de la Minuta de las Discusiones del Estudio Preliminar de fecha 9 de junio de 1992, el Director de la Agencia de Cooperación Internacional del Japón en la República Dominicana (en lo adelante referido como " JICA ") y las Autoridades del Gobierno de la República Dominicana han formulado conjuntamente el Calendario Tentativo de Implementación de la Cooperación Técnica para la Fase II del Proyecto de Desarrollo del Cultivo de la Pimienta (en lo adelante referido como "el Proyecto") de conformidad con el documento anexo.

El presente Calendario Tentativo de Implementación ha sido formulado en el marco del Acta de Discusiones firmada el día 3 de julio de 1992, a condición de que se suministre los recursos necesarios para la implementación del proyecto y además, este Calendario estará sujeto a cambio, dentro del contenido del Acta de Discusiones cuando así se requiera durante la implementación del Proyecto. Redactado en Inglés y Español, ambas versiones son igualmente oficiales. En caso de alguna discrepancia en la interpretación, el texto inglés prevalecerá.

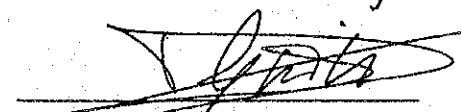
Santo Domingo, República Dominicana, 3 de julio de 1992.



Sr. Masao Yoshimura
Director,
Agencia de Cooperación
Internacional del Japón
en la República Dominicana



Sr. Nicolás Concepción G.
Secretario de Estado,
Secretaría de Estado de Agricultura,
República Dominicana



Sr. Gustavo A. Tavárez R.
Director General,
Instituto Agrario Dominicano,
República Dominicana

CALENDARIO TENTATIVO DE IMPLEMENTACION

I. Actividades del Proyecto

Actividades	1er año	2do año	3er año	4to año	5to año
<p>(Periodo de Cooperación Técnica) A. DESARROLLO DE LAS TECNICAS ADECUADAS DEL CULTIVO Y FORMULACION DEL PLAN DE MANEJO AGRICOLA</p> <p>1. Desarrollo de las Técnicas del Cultivo</p> <p>(1) Investigar la característica de crecimiento de planta adulta y poste vivo.</p> <p>a) Investigación del crecimiento y cosecha de la pimienta.</p> <p>b) Investigación del crecimiento del poste vivo.</p> <p>(2) Mejoramiento de las técnicas del cultivo de planta adulta.</p> <p>a) Análisis de los factores componentes de la cosecha</p> <p>b) Mejoramiento de los métodos de cultivo.</p> <p>c) Característica de variedad e investigación sobre la adaptabilidad.</p> <p>d) Sistematización del manejo de cultivo.</p> <p>(3) Manejo y mantenimiento del poste vivo</p> <p>a) Manejo y mantenimiento del poste vivo.</p>	7 Jul. 1992				6 Jul. 1997

Actividades	1er año	2do año	3er año	4to año	5to año
(4) Introducción de otras especias a) Cultivo e investigación de característica según variedad. b) Desarrollo sistemático del cultivo asociado a la pimienta con otras especias.					
2. Desarrollo de las Técnicas de Suelo y Nutrición (1) Establecimiento del nivel de aplicación de fertilizantes, según el tipo de suelo. a) Establecimiento del nivel de aplicación de fertilizantes, según el tipo de suelo. (2) Investigación del tiempo óptimo de aplicación de fertilizantes desde el punto de vista fisiológico. a) Investigación de la condición de los nutrientes, según fase de crecimiento. b) Investigación del tiempo adecuado para la aplicación de fertilizantes.					
(3) Investigar la influencia de la aplicación de materias orgánicas al crecimiento de la pimienta. a) Investigación de la eficacia en la aplicación de materias orgánicas.					

[Handwritten signature]

Actividades	1er año	2do año	3er año	4to año	5to año
<p>b) Investigación de competencia con poste vivo.</p> <p>3. Desarrollo de las Técnicas de Protección Vegetal</p> <p>(1) Investigar la aparición de enfermedad y plaga de la pimienta.</p> <p>a) Investigación de la aparición de enfermedades y plagas de la pimienta.</p> <p>b) Identificación y diagnóstico de las enfermedades.</p> <p>c) Estudio de las condiciones que inducen la aparición de las enfermedades.</p> <p>(2) Desarrollar los métodos de prevención y control de las plagas de pimienta.</p> <p>a) Estudios de las técnicas de prevención y control biológico.</p> <p>b) Estudios de las técnicas de prevención y control físico de las enfermedades mediante el mejoramiento de las condiciones del suelo.</p> <p>c) Métodos de uso efectivo de productos químicos</p> <p>(3) Investigar la aparición de enfermedades en otras especies y cultivos intercalados.</p> <p>a) Investigación de la aparición de enfermedades.</p>					

[Handwritten signature]

(Handwritten signature and scribbles)

Actividades	1er año	2do año	3er año	4to año	5to año
<p>b) Diagnóstico e identificación</p> <p>4. Establecimiento de un Sistema de Producción de Plantas Adultas</p> <p>(1) Establecer un sistema de propagación y producción.</p> <p>a) Manejo y desarrollo de plantas madres.</p> <p>b) Establecimiento del sistema de producción de plantitas.</p> <p>5. Desarrollo y Establecimiento de un Sistema de Procesamiento de Post-Cosecha.</p> <p>(1) Desarrollar un sistema de post-cosecha y almacenamiento en el cual se puedan obtener productos de la pimienta negra de buena calidad.</p> <p>a) La relación entre métodos de secar los frutos y la obtención de pimienta negra de buena calidad.</p> <p>b) La relación entre métodos de almacenamiento y la obtención de la pimienta negra de buena calidad.</p> <p>(2) Estudiar el sistema de comercialización de pimienta negra.</p> <p>a) Establecimiento de criterios nacionales de calidad de la pimienta.</p>					

(Handwritten signature)

Actividades	1er año	2do año	3er año	4to año	5to año
b) Desarrollo de circulación del mercado nacional y el sistema de venta.					
6. Formulación de Planes de Administración					
(1) Estudios de administración agrícola a nivel de los agricultores de prueba.					
a) Estudio de la administración agrícola en etapas tempranas.					
b) Estudio económico de seguimiento en la administración agrícola.					
c) Registro de contabilidad agrícola.					
(2) Formular planes de administración agrícola.					
a) Formulación de los planes de administración agrícola.					
B. ADIESTRAMIENTO Y DEMOSTRACION					
1. Demostración y Validación de la Tecnología en Fincas Modelos.					
(1) Demostrar varias maneras de cultivo de la pimienta.					
a) Cantidad de producción.					
b) Los costos y rendimiento.					

(Handwritten initials and signature)

Actividades	1er año	2do año	3er año	4to año	5to año
2. Demostración de la Tecnología Desarrollada y Capacitación.					
(1) Elaboración de materiales para la capacitación.					
a) Preparar materiales divulgativos para técnicos, según áreas.					
b) Preparar materiales divulgativos para fomentar el cultivo de la pimienta.					
c) Preparar materiales educativos audio-visuales.					
(2) Entrenamiento tecnológico.					
a) Preparación del plan de entrenamiento.					
b) Ejecución de entrenamiento.					

(Handwritten signature)

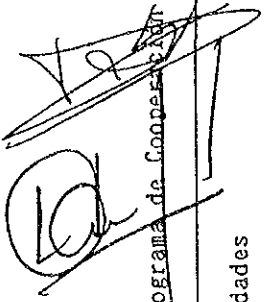
II. Programa de Cooperación Técnica (por la Parte Japonesa)

Actividades	1er Año	2do Año	3er Año	4to Año	5to Año
<p>1. Envío de Expertos a Largo Plazo.</p> <p>(1) Líder</p> <p>(2) Coordinador</p> <p>(3) Experto en Cultivo</p> <p>(4) Experto en Suelo y Nutrición</p> <p>(5) Experto en Protección Vegetal</p> <p>(6) Experto en Planificación de Fincas</p> <p>* El Líder y el Coordinador podrían servir simultáneamente como uno de los expertos.</p> <p>* Un máximo de cinco expertos podría ser enviado al mismo tiempo.</p> <p>* Las recomendaciones técnicas a las Contrapartes Dominicanas referentes a actividades de entrenamiento también serán conducidas por los expertos.</p> <p>2. Envío de Expertos a Corto Plazo.</p> <p>* Cuando sea necesario.</p>					

[Handwritten signature]

Actividades	1er Año	2do Año	3er Año	4to Año	5to Año
3. Suministro de Equipos y Maquinarias.					
4. Contrapartes Dominicanas a entrenar en el Japón * Dos o tres personas cada año.					
5. Envío de Misiones de Evaluación * Misiones de Asesoría Técnica pueden ser enviadas cuando surja la necesidad.	Plan de Evaluación	Asesoría Técnica	Asesoría Técnica (Evaluación a Mitad del Período)	Asesoría Técnica	Evaluación

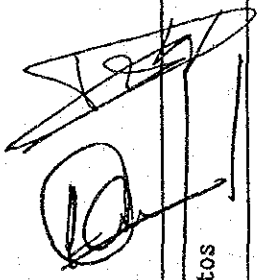
[Handwritten signature]



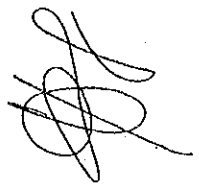
III. Programa de Cooperación Técnica (por la Parte Dominicana)

Actividades	1er Año	2do Año	3er Año	4to Año	5to Año
1. Colocación del Personal					
(1) Director del Proyecto					
(2) Coordinador : Coordinador, Secretaría de Estado de Agricultura (SEA) Coordinador, Instituto Agrario Dominicano (IAD)					
(3) Personal Contraparte en las áreas de:					
a) Cultivo : SEA IAD					
b) Suelo y Nutrición : SEA IAD					
c) Protección Vegetal : SEA IAD					





Asuntos	1er Año	2do Año	3er Año	4to Año	5to Año
d) Planificación de Fincas: SEA IAD					
(4) Personal Administrativo : SEA IAD					
2. Suministro de los Costos Necesarios del Proyecto: SEA IAD					
3. Suministro de Terrenos, Edificaciones y Facilidades: SEA IAD					



JICA